京城日報

最近の米國 (八)
人物要求
スミス博士講演

夫れから自動車のことでありますが私は始めて桑港に上陸した時に其數の多いのを見て驚きましたそれも其筈であります桑港だけでも九百三十一萬臺あります丁度十一人に對して一臺の割合でありますガンサス州は五人に對して一臺の割合ですから皆自動車に乘つてベースボールや活動寫眞や其他何處にでも行きます又學生ですら皆自動車に乘つて學校に行きます或る日私は或る學校の附近を通ると澤山の自動車が殆ど通ることが出來ない程ありました聞けば或る學校では運動場の一部を自動車置場にしてあるさうです處が此自動車の爲に殺される人の數も一箇年には三千八百何人もあるさうですが文明の機關も弊害が伴ふものであります夫れからお話は變りますが米國の借金は非常なものです從つて米國の税は非常に高い夫れがため米國人は一般に不平を言つて居ります私が米國に居つた頃は米國の一錢金は餘り使へませんでした今度歸りましたら皆が使つて居ります私は夫れを五十枚ばかり持つて居ります御入用の方がありましたら進呈いたします

夫れから米國ではアイスクリームの切符を買ひましても或は汽車の切符を買ひましても矢張り税を取りますアイスクリームは一杯十五錢であるのに二錢の税を取ります活動寫眞に行つても五錢の税を取ります私は桑港で日本迄の汽船の切符を買つて驚いた夫れは切符係が税を五弗取ると言ひました私共は子供六人都合八人でありましたから四十弗取られました夫れは私が歿後に米國政府に寄附して參りましたものであります

次に私は經濟敎育宗敎の話しに付いて簡單に申上げますが今米國に於て一番必要なものは何であるかと云へば夫れは立派な品性のある人物信用のある人物であります而して米國の何處にでも[illegible]於て此等の[illegible]共に宗敎の必要を力說して居ります之れは實際の話しで然う云ふ人を少しでも餘計作らなければならない夫れには怎う云ふ風にして善い人物を作るかと云ふと宗敎の外方法がありませぬといふ事は誰もが言つて居ります而して殊に米國の信者は其點に就て非常に努力してるます又昨年の敎會の會員の增加は四百萬人でした

帝展に現はれたる美術界の大勢
新機軸を生み出さんとする南畫
楢崎鐵香

本年の帝展に入選した畫家の中にその修養期の大部分を我が朝鮮の自然の中に過した人を二名數へることが出來ます、鶴田吾郎、楢崎鐵香の兩氏です、即ち特に兩氏を傾はして本秋の帝展に現れたる美術界の大勢を傳ねることにいたしました

昨年啼夜明香を描いて特選になられた中村大三郎氏の淨謐はいつ者饒な又平右衞風な美人畫でありまして支那の仇英の作品を思はせるデリーケートな美しさをもつた享保時代の若い婦人が桔梗の花を持つた立像でこれも前三者に次ぐ立派な作品だと思ひます、氏の作品はいつも技工の細緻なおだやかな感じを與へる色を持つていると思ひます

矢澤弦月氏の寶生の夕ばには例年の作よりは少し惡くはないかと思ひます。

では、南畫に赤松雲嶺・矢野鐵山・湯田玉水氏等がありますが湯田氏の三幅對の如きは格別に何が書いてあるかわからないだらうと思ひます。

蕃來のこらはれた所謂南家連はきつとこれを見て驚き且つ惡口することであらうと思ひますが 作者が如何南畫なるものを研究されて居るかと云ふ事を眞篤に考へた場合には、あゝした道にも進まなければならん事が解されると思ひます。

この立場から小野竹桃氏は新南畫を創作しようとして可なりの成績を得ていると思ひます。田園二圖を描かれてありますが若し唐宋の古南畫明末淸朝の代表的南畫を見た目でこれを見てわたしかに生命あるものと思ひます。

南畫と云へば直入を連想し大雅や竹田ばかりを比する古い頭の人々にうしたものを見て夫を理解する事の出來る樣になつて欲しいと思ひますどちらかと云へば[illegible]有無は南北二佐新派に限らず作者その者の精神問題ですから作品の上に於て論ずることでありません。それで鑑逝上から見た場合の問題なれば四條派も南畫も一所に見ていゝと思ひます。

花鳥として榊原蒼山氏・山下馬山氏・中西辨次氏・竹村白鳳氏の作品はいゝものとして印象に殘つて居りますが餘り光りを持つた物は福田氏の鯉以外にありませんでした。

デモクラシーの不安 (一)
エーチ、ビー シャストリー
（上海タイムス所載）

實行の伴はざる宣傳

群集心理を利用して奸詐老猾なる手段を廻らし巧妙なる宣傳により事實の眞相を朦朧し天下萬人を欺く今日其の宣傳の虛報中より事實の眞相を探知するは實に困難なる處なり帝國主義と侵略主義との企圖は『所謂國家の福利を希望する人士』の計畫なりと傳へらる而も天下の耳目は所謂巧妙なる官僚のために蔽はれて其の黑白を辨ずる能はざる有樣なり昔てマーク、トヰューンは其著に曰く政治上の所謂勝利者なるものは大聲疾呼して口に正義人道或は解放、眞理、慈善を叫ぶものにして內心醜しき嫉妬と忌まはしき自己の利益のために計るものなりと、而して所謂國家の福利を希望する人士なるものを見るに彼等は口に人道を唱へ其の名の許に國と國とを仇敵たらしめ戰艦軍備の增進を促しつゝあり又彼等は彼等自身の商業發展のために他の有力なる競爭者に對しボイコットの關を結び置に

下劣なる手段

を弄して恬として愧ぢず而も自ら稱して人道の友と呼べり彼の有害忌まはしき戰爭に於て獨り其財嚢を滿しゝものは彼の『所謂國家の福利を希望する人士』にして彼等は多大の基金を有して或は新聞を買收し或は人の惡事を非議して生活する獰猛ゴロに資金を提供して其の論議を封じたり又彼等は嘗ては袁世凱を後援して袁氏の皇位を占むべきを唱道し遂に米國に於て之を宣傳し而も數年にして民主黨に肺し後又有色人種の排斥を鬪播せり然れども吾人は假令人は時に邪惡の誘惑に迷ふ事あるも其性は善なる事を信ず即ち人の心の奧には公平なる人より提供さるゝ眞理の前には感銘すべき

良心の存する

事を信ずるものなり予は今此の良心存在を信じ極東の政治問題に關し政治を以て自己の天職とする諸賢に一言せんと欲す乞ふ先づテニソンの聖句を聞かれよ『地上に締けし眞理は再び昇るべしそは眞理は永遠なる神の如く永遠なればなり』日本に對する忌まはしき反感の支那人の胸中に充滿することは人道の幸福を希望するものゝ等しく憂ふる處なり然るに何ぞ計らんデモクラシーの唱道者を以て自ら任ずる者の

此の兩國の間隙

を益大ならしめ而も假面支那に親和を衒ひ密に其の懷に侵入せんとは吾人は其淺間しき猾智に呆れざるを得ざるなり支那に於ける日本の政策が果して彼の在支米國人に依つて非難せらる、程左程に譴責すべきか否かは姑く措き吾人は寧ろ排日論者其のもの、誠意を疑はずんば非ず吾人は此の論據確證のため此處に識者の言を引證せん彼のトーマス、エフ、ミラード氏は曰へり『余は米國が他の何れの國よりも公平なりと主張する能はず何となれば米國は彼の極東の門戶開放』を以て自國に取ては最も特策と信ずればなり恰も他國が『勢力範圍』主義が彼等に得策なると敢て選ぶ處なければなり何れも皆自國の利益を主張するものにして自己主義に於て何等の異る處なし』と

船旅日記 (其の十六)
屑屋の籠
殿汀生

海上旅行の趣味

以上十五回に亘る記事は、余が今夏の東京上りに、船路を取つた門司、橫濱間道中記の抄録である、余は往路には三日間下關に滯留して、上海より橫濱に歸航する八幡丸（三五〇〇噸）の門司に寄るのを待ち受け歸途には、橫濱とアンヴェルス間を通ふ佐渡丸（六〇〇〇噸）に乘込んだ。余が特に外國航路の郵船を選んだのは、其れらが概して優良であり、又待遇が好いからでもある。

余は今日或る階級の人々が避暑旅行と云ッて、涼しい場所を求めて出掛けるくせに、海を渡るべき船路を避けて、急ぎもせぬのに、暑い、狹苦しい、窮屈至極な汽車に乘らるゝのを御氣の毒に思はざるを得ない。そよ〳〵と涼風の吹き通ふ上甲板に出て浩渺たる海波と天空とを仰ぎ且つ望みつゝ、海を渡るの愉快さは之を煤煙を浴びながら人込みの中に跼くまッて居る汽車の乘心地に比べてみると、窮屈なホワイト、シャツや洋服を脫いで、ゆらりと浴衣に着換へた樣なものである。殊に天氣の眞な朝、うらゝに昇る月明の夕、船の進むにつれて景色の變化する內海の眺めは、到底陸上の人の想像し得べき所でない。海は決して世人の想像するが如く怖いものではない。日本には『板子一枚下は地獄』といふ諺があつて、舟乘りの生活は危險なものであるといふやうに思はれて居る、成る程、脆い小さな舟に乘つて、高波荒る大洋を渡るやうな舟子の業は、幾らか危いに違ひはない。されど大きな郵船に乘つて、一定の航路を往復するに何の危險があらうぞ。陸上の旅行にも、汽車の衝突もあれば、自動車の顚覆などもある。果して孰れが危いかは未だ斷言することが出來ない。又縱し舟子の業にしたところが、實際は人の怖れる程に危險なものではない。西洋には次のやうな話がある。

『俺の家は代々船乘りで、俺の親爺も祖父も皆難船して死んで了ッたさ』『それでもお前は、海が恐ろしくはないか』『お前の親御やお祖父樣は何處で御亡くなりなされたか』『皆疊の上で死んださ』『それでもお前樣は、疊の上が怖くはないか』日本人は古來海を怖がるやうな國民ではなかッた。それが今日のやうになッたのは德川家光が、鎖國政策を執ッた餘殃である。日本は海國である海の上に又海の外に發展し、活動することに依ッて、興り且つ榮ゆるのである。余は、余の同胞が常に海を愛し、海を親しみ、常に海の事を思ひ、又海上旅行にも深い興味を感ずるに至らんことを望むのである。（完結）

新刊紹介

▲日の丸（十一月號）廿五錢 東京同上
▲無我の愛（九、十月倂大號）六十錢 東京神田表神保町精神運動社
▲日本國民性（一圓）東京芝南佐久間町[illegible]新報社
▲婦人雜誌（十一月號）四十錢 東京本鄕砂町共社
▲電氣界（一六七號）卅五錢 大阪北區若松町電界社
▲寫眞乃友（十月號）五十錢 東京[illegible]今戶町共社
▲[illegible]一雜誌（二圓六十錢）東京[illegible]町生活社

小說 運命 (三九)
原田東風

『つまり世間が益々世智辛くなつて、人間がそれだけ忙しくなつてるんだな』

『さうか知れん、併し書生などは反對に悠長になつたやうじやないか、第一服裝なども何れも至々としてゐるので、僕は驚いたよ』

『さうだ、書生だけは實に贅澤になりやした、服裝やおめかしを競ふて、町中を得意げにブラ〳〵してたくッて歩くのが今の書生の本領なんだ、所謂不良靑年の徒輩でな』

『フム……僕等の時代には不良靑年などいふ言葉さへなかつたじやないか』

『さうだ、但し堂擢連はあつたがな』

靑木は笑ひながら又武田の樣子を不思議げに見る、武田は聊か元氣の出たやうに語つてゐたが、それでも見るほど凡てが憂へてゐた。

『さう〳〵、だが兎に角變つたもんだ……』

武田は感慨深さうに言つて、今更氣の付いたやうに家の中や庭のあたりを珍らしげに眺め廻す。

『それはさうと衣服が濡れてゐるじやないか』

靑木はふと氣が付いて言つたが、併し生憎著代へを勸めやうな衣服もなかつた。

『ウム、構はんよ』

『でも氣持が惡いだらう、僕の所には寢卷き位のもので著代へもないんでな』

『なアに好いよ、直に乾く……』

武田は無頓著に言つて、庭の方を見詰めながらボンヤリと考へ込む心の中には何やら心配でもあるらしかつた。

『オイ、茶を注いだよ』

『それはさうと何うしてヤッて來たんだ、餘り突然じやないか』

『ウム、僕か、僕もいろ〳〵に變つてなア……』

武田は淋しく笑つて、濡れた衣服の袖を捲くりながら言ふ。

『そりやア變つたのは御同樣だがな』

『イヤ、その變り方が少々違ふんでなア、ハッ〳〵〳〵、先づ御覽の通りなんだ』

武田は自ら嘲るやうに笑つて氣の付いたやうに冷めた澁茶を取る。

『そんなことは何うでも好いが變つたッて何う變つたんだ』

實業之日本

安田翁論
▽余の哲理的觀察……中島德藏
▽富の靈化を論ず……帆足教授
▽大富豪の資格論……湯原元一
▽余の心に映れる安田翁……村上專精
安田善次郎翁の一生は毀譽紛々定まる所を知らず强慾なる守錢奴か完全なる富の管理者かしといひ偶々其橫死に依りて其生涯は明暗何れにか展開されんとす、本號に揭げたる四大家の批判は翁に對する世上毀譽の中心的雄篇

澁澤男は何故大倉川崎大爭議仲裁より手を引いたか……永谷氏
◆軍備制限を主張する米國の眞意……豐原又男
◆職業紹介所の機能と使命……
◆支那紡績の現狀と將來……北斗生

排外思想の根本的打破……增田社長
◆理化學研究所は何をして居るか……瓊川生
◆（特揭讀物）五色の皿……伊東工學博士
◆（特揭讀物）孟子物語……矢野恒太

原首相の三十七年前の手紙 水も洩さぬ周到の注意 ……中……[illegible]

◆米作收穫高累年比較表（表紙圖表）
◆福々の紡績會社（財界片々）

米作から見た米價豫想
▽米作の豫想と米價……岡田帝國農會理事
▽米價はまだ騰貴する見込……加賀卯之吉

麥の二倍半增收法
三石された畑から七石五斗以上取れる法……碩田生

◆重役級の新人物……ニコニコ山人
◆大會社の祕書役……

登記されてた家屋を橫取判決例

◆神經衰弱者に最も良い食物……樫田醫學士
◆大阪電燈會社長宮崎敬介氏の印象記……

鬼怒川水電株 有利

兄弟五人協力の模範的工場（近來稀に見るの美談、萬人必讀文字）
◆來春鋳入れの東京市內ホテルの作戰振り……
◆彼れが毛斯倫紡績の社長となるまで……ＡＢ

十一月一日號 第廿五卷第廿二號 東京京橋區 實業之日本社 振替東京三二六

周易 家相 岡村介石 京城明治町二丁目

藤村全集

豫約募集 ■島崎藤村先生誕辰五十回記念出版

藤村全集成る！我が文壇の巨匠島崎藤村先生の全集成る。先生は我が日本文壇に於ける詩の創始者にして當時の作は實に我が國民的情熱を謳へる眞個の國民藝術なりき。而して詩より小說に轉ぜる先生はいかに小說界に新境地を拓きたるか。當時勃興し來りたるリアリズムの精神が、いかに力强く先生の諸作の裏に活かされたるか。更にまた先生の最近の作品が、新しき生命の創造とも云ふ可き人格的藝術の典型として、いかに崇高なる魂の苦闘を示せるか。又、先生の感想隨筆の類が、いかに深き叡智と豐かなる情懷とを以て充たされたるか。是れ何人の前にも俟りに明かなる事實ならむ。茲に本全集を刊行するに當り、我等が、時代の光榮を不朽に傳ふるものとして、周ねく天下の智識階級に薦むる所以也。

■內容見本つき規定書 申込次第無料進呈■

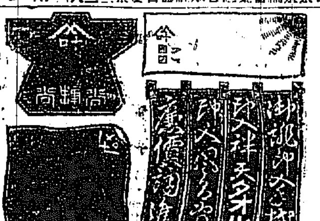
總目錄◆第一卷。詩と散文―千曲川のスケッチ―創作六篇◆第二卷。詩と散文―創作二篇◆第三卷。破戒◆第四卷。春◆第五卷。創作十七篇―新片町より◆第六卷。家◆第七卷。創作十七篇―生ひ立ちの記◆第八卷。創作十篇―後の新片町より◆第九卷。佛蘭西の旅にて―櫻の實の熟する時◆第十卷。海へ―幼き者へ―ふるさと◆第十一卷。新生◆第十二卷。エトランゼエ―創作二篇―飯倉だより―年譜

申込期限 十一月二十日
體裁 各冊四六大判紙數（約）六百頁背皮布表紙、天金、特製極美本用紙佳良、印刷鮮明。巻頭著者の肖像（コロタイプ版）挿入
▼本集は非賣品にて、豫約者にのみ頒つものとす
▼毎月拂金參圓八拾錢、一時拂は四拾參圓五拾錢に割引きす、別に送本料を要す
送本料（一冊市內六錢、內地拾貳錢）
▼希望者は參圓八拾錢を添へ申込みありたし
▼大正十一年一月より每月一冊づゝ發刊全十二冊完了す

申込所
東京市牛込區矢來町 電話八〇七八 八〇〇九番 新潮社
麴町區內幸町一丁目 電話銀座七八三番 國民圖書株式會社
東京日本橋通四丁目 電話本局五一一番 春陽堂

東京市麴町區內幸町一丁目 藤村全集刊行會 發行
電話銀座七八三番 振替東京二九八八八番

蜂谷寅藏商店
大阪市南本町中橋 電話船場三〇七六番 振替大阪六〇四四番



獨逸製ピアノ新荷著
和聲より安くて丈夫
オルガン モ不日著致ます
十一個ストップで二百五十圓
京城日の出小學校前（電話長三一〇五番）
杉野舶來樂器店

生徒募集
京城自動車學校
運轉手技士取り試驗受驗に必要なる科を授け十一月十六日開始何人も直に運轉せしめ資格取得必ず申請免許證を取らしむ
京城府黃金町三丁目
入學無試驗 規則送呈 航空機科新設
東京市京橋區 東京自動車學校
福岡市上島町 福岡自動車學校
大阪西區市岡町 大阪自動車學校
卒業生は鮮內は勿論內地にも就職大成を指導す

肺病實驗治療問答
醫學博士栗本先生監修 東京京橋區 發行所 濟民社 定價廿五錢
好評百卅五版
▲可憐なる肺病患者諸君先づ本書を一讀せよ蘇し再生の効を全ふし得ん乎、若し此言を疑はゞ讀め、今回社會奉仕の微衷を表せん爲め同病者三千名を限り無代贈呈す▼

水車 唐箕 製造、販賣
京城本町二丁目 電話取次一四七 稻士井 元組 飯田工場

陶器、金物、漆器 荒物類卸小賣
平壤南門町 電話一八番 振替京城四六四一番 秋鹿陶器店

靑年雄飛之鍵 海外發展講習錄
今や海外發展の時は來れり海外に雄飛して將來大成を期せんとする有爲なる靑年は速に本會に入會して渡航準備を爲せ本會には渡航獎費海外旅行券下附斡旋海外各所へ就職紹介外種々の特典あり實に之れ海外渡航者最善の相談相手たり
東京巢鴨町二丁目 電小石川五三一八 帝國殖民協會

こんなやぶれがきれいに手早くつくろへます
メリヤス織物つくろい機械 ボンハンドルーム
改正定價 一組金壹圓貳拾錢 送料十錢
▲說明書郵券二錢封入御申越次第進呈▼
製造元 大阪 山中辰商會
朝鮮一手特約店 釜山幸町一丁目 五半商會 伊田新三郎 振替京城九四八九番
代理店募集

京日案內

時計 貴金屬 指輪 眼鏡 商

京城本町三丁目 三浦大龍堂

招聘 高給外勤員若干名 交渉ニ經驗ノ有ル人ハ特ニ優遇ス 希望者履歷書持參來社アレ 黃金町二帝國公債株式會社支部

讓店 市內目拔ノ場所ニ於ケル有望ナル店 アリ至急讓タシ 望ノ方ハ左記ニ來談アレ 櫻井町一丁目五 電話取次三三六三番 酒

店員 至急入用年齡十八より二十七歲迄の者市內に確實なる保證人を要す 本人來談あれ 京城旭町二丁目いたみ屋洋服店

店員入用 內地人年齡二十以上三十歲迄の者 確實なる保證人を要す 希望者本人來談あれ 京城本町三丁目 電話三〇八番

店員入用 二十五歲迄 體ある。者希望者は本人來談 京城本町四丁目 加藤商店印刷部

入用 炊事女入用 希望者ハ至急來談アレ 第一銀行 合宿所

事務員至急入用 希望者ハ履歷書携帶本人來談 京城永樂町八十五 新聞社

古本 買入 東京堂書店 京城本町二丁目 電話二四二八番

電話 を賣ります 御希望の御方は 大平通寺ノ參拾八番地 染料店ノ裏 村上迄

古本 誠實 買入 京城本町二丁目 文光堂書店 電話參參四八番 振替英參七〇番

五號活字十四字詰五行一回 金一圓三十錢 ▲略名は一回料金の 二割增 ▲前金にて前金の事

最新刊
大阪屋號書店
牧師詩集
代思潮批判
支那思想及人物
世界大戰の敎訓
米國と世界大戰
ギルヘルムマイス
足の向く儘

全權華府着光景
一行元氣旺盛＝米大官第一公式禮裝にて出迎＝未曾有の歡迎

【華盛頓上田特派員二日發電】日本全權一行は二日午後四時ユニオン停車場に到着し一同元氣旺盛なり 國務卿ヒユーズ氏以下海軍卿デンビー氏、各次官其他ブリス將軍等第一公式禮裝にて出迎へ構內莊嚴を極む殊に米國上院（電文不明）は一行に同行の日本新聞記者に敬意を表するため停車場內に出迎へたりこれ蓋し未曾有の歡迎なり全權等下車するや軍樂隊は君ケ代の樂を奏し騎兵一大隊一行を警衛せり出迎への駐米大使幣原氏外館員は逸早く兩全權に近よりて握手し次で一行に一々握手して遠來の勞を謝せり 一行は米國陸軍省が特に歡待のため差廻せる十二臺の陸軍自動車に分乘してホテルに入れり當日停車場に蝟集せる人々數千に及び警戒嚴重を極むプラツトホームに入る事を許されたるは各新聞代表者各一名に過ぎず

各國委員續々陳情書を發す
乘船オリンピツク號紐育着

【紐育電報】軍備制限會議に對する各國委員の乘船オリンピツク號は來著したり卽ち同船便乘者は伊太利委員サンゼル博士、ドーランレーマン氏上院議員アルベチ氏英國委員リー卿伊太利代表カルテル氏支那代表顧維鈞氏等なるが伊太利委員は陳述書を發し『伊太利が軍備制限會議に列席するは主として世界的勢力に落伍せざらんがためにして特に此際最も重要な問題は亞米利加が國際聯盟に加入せし事なり』と云ひ顧維鈞氏は東洋問題に對する支那の位置の重要なるを斷言し『支那の第一の目的は軍備制限會議を成功せしむるにあり同會議の成功は東洋に於ける支那の權利と自由とを承認する事なくして之を見る事を得ざるべし』と說き英國委員リー卿は『英國の至大の希望は各國民間に於ける密接なる諒解にあり而して予は之をなし得べしと確信す』と言へり

ウ氏獅子吼せん
九ケ月間の沈默を破りて軍備制限問題に關し

【華盛頓電報】前大統領ウヰルソン氏は九ケ月間沈默を守り居たるが十一月十一日の休戰記念日を期してアーリントンに於て軍備制限に關して一場の演說をなす事となれり併しウ氏は目下健康を害しフオツシユ元帥が態々氏を訪問したるに對してすら面會せざりし程なるを以て果して演說みなし得るや否やは疑問なりと

日英二大案一致
米歩調を一にするや否や

【倫敦電報】日英兩國は華盛頓會議に於ける討議の二大問題たる對支政策並に小艦小砲主義に就ては全然一致するならんと唯一の問題は歐洲より手を引ける米國が傳統的孤立政策より脫して支那の革新を計るため日英と協力するや否やの問題なり

英首相缺席と失望

【紐育電報】華盛頓の政府筋並に外交界は英首相ロイドジヨーヂ氏は華盛頓會議に參列する事能はずとの報ありたるため甚だしく失望し居れり尚ロイドジヨーヂ首相缺席の場合は駐米大使ゲデス氏全權委員たるべし

日本實業團一行消息

【シヤトル電報】日本實業團一行は二手に分れ一はポートランド及び桑港方面に向ひたり當地實業家等は盛に日本實業團一行を歡待せり

獨工業盛り返す
各國より買占殺到

【倫敦電報】デーリークロニクル紙伯林特派員の報道によれば獨逸商品が安價なるため世界各地より買占に殺到し國境の町々にては商品は買切れたり和蘭、伊太利、亞米利加は毛皮若くは夜會服英國は寫眞機望遠鏡を購入しつゝあり而して佛蘭西、西班牙、白耳義、スカンジナビヤ諸國は獨逸品の販途に堪へ兼ねて衣服商、洋服商、陶磁器商の各商店は一齊に大賣出を開始し[illegible]る由にて[illegible]たり日本の二三の世界漫遊團も馬克相場の最も低落したる當時到着したるを以て諸種の商品を買占めたりと

帝國議會
十二月二十四日召集か

【東京電報】政府は樞密閣議開始と共に第四十五議會召集をも併せて決定し御裁可を仰ぐ筈なるが召集期日は十二月二十四日に決定すべく來る七日の閣議に諮りたる上十日若くは十一日を以て召集詔書公布せらるべしと

大演習審判官

【東京電報】陸軍特別大演習審判官は四日左の通り發表の筈

統監部幕僚	陸軍中將	菊池愼之助
中央審判官	同	鈴木孝雄
東軍審判官	同	兒島惣次郎
西軍審判官	同	星野庄三郎

亞細亞移民コ州入國禁止

【ビクトリヤ電報】路透社發英領コロンビヤ州議會は加奈陀政府に對し移民法を改訂し全然亞細亞移民の英領コロンビヤ入國を禁止するに決せり

火夫最少年齡制限案

【倫敦電報】ゼネバに開會中の國際勞働會議の海運問題委員は火夫及運炭夫の最少年齡を十八歲とする事を提議せり

露國實情を秘隱す
旅客の携行品を點檢す

【浦鹽電報】勞農露國又は極東共和國が其實情を外間に知らしめざるべく努めつゝあるは周知の事實なるが近時後貝加爾方面より東行する旅客に對しては其携行の荷物は（一片の書信に至る迄も）嚴密に點檢を行ひ苟くも極東共和國の實情又は政策等に觸るゝ嫌ひあるものは悉く沒收し殊に婦人客に對しては嚴重なりといふ又勞農露國に於ても此點に焦慮しつゝあるが之が證據には齊多のゴスポリトアフラーナに命令して勞農露國の雜誌及び新聞書籍等を齊多以東に出さゞるやう嚴命せりと

反過激派の活動

【浦鹽電報】最近齊多附近より北滿地方に來りし共產黨員の反過激派運動に就て語りし處に依ればスレテンスク附近の山中には反過激派の不平分子（千有餘名）各地に散在して宣傳をなし武器を蒐集しつゝあるが其動作神出鬼沒にして赤軍は爲に奔命に疲れ居れりと

米國の日本不撤兵說

【華盛頓電報】華盛頓の官邊より確聞する所によれば日本は尼港事件の犧牲となりし日本人の生命財產に對し露國より賠償せざるため齊多、サガレンより撤兵せずと聲明したり

黑鐵從業員罷業
西部全線に亘りて

【浦鹽電報】黑龍鐵道の從業員は俸給の支拂及待遇問題等にて不平を起し其改善を政府に要求したるが談判纏らず黑龍鐵道西部線は殆ど全線に亘りて同盟罷業を決行したりと

反政府擡頭防止を遣兵

【浦鹽電報】極東共和國の軍隊は各地方の反政府黨の擡頭に備ふる爲め各地方に派遣せられ都市には殆ど露國軍隊を見ざる有樣なるが殊に齊多の如きは全く異種族よりなる軍隊のみなるも此事實の[illegible]ことを恐れ新聞紙上等には軍隊に[illegible]る記事は[illegible]れりと

交延期
直接交涉形勢

【北京[illegible]】支那[illegible]り山東問題に關する[illegible]り顧維鈞氏及び施[illegible]事を延期せり同答[illegible]の方針は直接交涉[illegible]き命令を帶び居[illegible]は毫も無く北[illegible]

宜昌不穩と領事團

【北京電報】宜昌は湖南戰爭の影響により又々不穩に陷りたれば領事團は十月二十六日外交部に左の三條を提出せり

一、宜昌には最大限度の兵を置き城外に駐屯せしむる事
二、駐屯兵は秩序を維持する能力あり且つ軍律を實行し得る部隊たる事又其の指揮官の氏名は明かに通知する事
三、宜昌を通過する兵は之を上陸せしめざる事

以上は宜昌に各國租界を置く前提なりと信ぜらる

英對米戰時國債取引否認

【倫敦電報】英國藏相ホーン氏は亞米利加と戰時國債取引の交涉をなしつゝありとの報道を公式に否認せり

鮮滿國境警備
奉天にて協定せん

【北京電報】鮮滿國境警備協定は小幡公使と外交部との手をはなれ奉天に移し張作霖氏と赤塚總領事との協議により決定する事となり日本の提案十五ケ條を議題とし張作霖氏の對案を參考として協定解決する筈なりと

補給金增額と當局
或る程度の減額は免れざらん

【東京電報】明年度朝鮮國庫補給金の要求は朝鮮一千萬圓關東廳七百萬圓樺太廳百十萬圓南洋四百八十萬圓合計三千三百萬圓にして本年度に比し合計八百萬圓（南洋の分は除く）の增加なるが財界の影響にて一般會計に餘裕なきを以て當局にては緊縮方針をとれる結果補給金も大體に於て本年度程度に止め新規編成せる南洋廳の豫算に削減を加へ其他目下豫算內容につき拓殖局と大藏省と交涉中なるが永井樺太長官、朝鮮總督、山縣關東長官何れも出京し目的貫徹に力むる筈なるが或程度の減額（要求額に對して）は免れざるべしと

文部豫算削減

【東京電報】大正十一年度文部省豫算概算は臨時部經常部合計六千九百萬圓なりしが大藏省に於ける査定の結果六千二百萬圓前後に削減せられ前年に比し總額に於て僅に八百萬圓を增加せるのみ從つて新規事業費、設定計畫擴張費及增額に關する費目經費等は大藏省の緊縮方針に基づき査定の結果殆ど全滅の有樣となれりと

朝鮮經濟界發達
倂合後に於ける【三】

內地資金の流入

倂合後大正九年迄に至る內地資金の流入額は政府關係のもの三億五千三百六十三萬九百六十九圓民間關係のもの二億五千八百十三萬三千四十五圓合計六億一千百七十六萬四千十四圓にして右の外在內地小會社及個人關係に依る流入資金に付ては殆ど調査不可能なるを以て茲に數字を擧げ得ざるも其の額決して僅少ならざる見込なり今左に之等流入資金の內譯を示せば

（一）公債券に依る流入資金は事業資金借入金（朝鮮銀行より借入分五百五十萬圓を除く）二千七百十七萬一千二百十圓朝鮮事業費國庫債券（償還せる分を控除し）四千四百九十九萬九千三百圓五分利國庫債券（ろ號）一千三百二十三萬五千八百七十五圓同（に號）一千四百四十三萬五千百五十圓同（ぬ號）二千三百二十一萬二千八百二十五圓にして內第一起業資金債償還五百萬圓を控除し合計一億一千八百五萬四千二百六十圓なり

（二）一般會計支出朝鮮經營費は軍事費一億千百九十三萬七千三百九十九圓補充金七千九百五十八萬五千圓臨時恩賜金三千萬圓合計二億二千百五十二萬二千三百九十九圓なり

（三）恩賜金利子は明治四十四年度より大正九年度に至る支拂額一千四百五萬四千二百十圓なり

（四）朝鮮に本店を有する會社に對する內地よりの出資は大正九年末現在朝鮮に本店を有する會社の拂込資本金を四十三年に比すれば左の如し

	九年末資本 千圓	四十四年末資本 千圓	差引增加 千圓
內地人設立	一四三、九四四	三、三七三	一四〇、六四〇
內鮮人合同設立	一六、一九〇	五、二二七	一〇、九七二
鮮外人合同設立	一九、七八八	一、七三九	一八、〇四八
合計	一七九、八九二	一〇、三三〇	一六九、六六一

備考一、內容の合計に符合せざるは千圓未滿切捨の關係に依る
二、明治四十三年末現在會社調は設立者別調査を缺くを以て假に四十四年末現在の比例に依り本表の通り按分算出せり

前表中鮮人及外國人設立會社に對しては內地よりの出資なきものと看做し內地人設立及內鮮人合同設立會社に在りては各前表總資本の半額以上を占むる大會社に就き調査せる處に依り內地在住者株數の總株數に對する割合を前表拂込資本增加額に乘じたるものを本項內地資金流入額とす卽ち左の如し

			千圓
內地人設立會社	一四〇、六四〇	八割	一一二、五一二
內鮮人合同設立會社	一〇、九七二	六割五分	七、一三二

北京に於ける國際辯護士大會紛擾の眞相
原因は朝鮮辯護士側にある

今回支那で開會した國際辯護士大會は龍頭蛇尾に終つた原因に就き同會に列席せる某辯護士は朝往の記者に語つて曰く

『我々朝鮮の代表者は勿論內地に於ける各辯護士會有志並に日本辯護士協會は何れも鮮人辯護士團の爲めに有利なる立脚地を與へる事に努めてゐたのは事實である然るに朝鮮人たる辯護士は我々と一緒に出發し乍ら途中奉天の大會にも列席せず直に北京に直行して比律賓國、上海派の辯護士團に泣きつき日本辯護士團から分離して

獨立したる

辯護士團として承認せらる事を求めた要するに獨立を前提として投票權を得たいと云ふ議案を提出した譯である、其の躍起運動が多少有望であるとでも思つたか直接之を支那側に向つて提出したが大會々長王有齡氏は之を一蹴して仕舞つた、其の理由は『獨立國で無い以上獨立したる發言權、投票權は決して與へられぬ、比律賓は、米領なれど米國の加入せぬ限りは之が獨立權を承認して差支ないけれども朝鮮は

是と同一視

は出來ない』と云ふのである此事を聞知した內地辯護士團は例令非公式とは云へ反國家的行動を執る如きは斷じて許すべからず須らく之を除名して權利を奪ひ列席の資格なき樣にすべしと息卷くに至つたが朝鮮內地人側は極力

協定の勞を

執り兎に角穩便に計らい此內輪モメを外部に暴露せしめず其の結果支那側の同情を博することが出來た今回の大會は斯る好ましからざる事實を惹起し爲に無茶苦茶に務られた事は會同者をして不快の念を催さしめた』

華府會議に關し不逞輩の風說に
＝迷はさるゝ勿れ＝
鮮內に騷擾が起ることは全然無根
某警務局員談

近來鮮人學生の間に總督府では今度の太平洋會議に就て學生が騷擾を起す虞があると云ふので本月中旬から來年の二月まで休校して學生を夫々實家へ歸らせることになつたと云ふ風說を流布し中には歸鄕するから旅費を送れと云ふ樣な事を實家へ申送る者もあるとかで其實否を照會して來る者もチヨイ〳〵あるソンなバカげた事は京城に居る人は少しも信じないけれども

地方の人は

事情が分らないから信ずる者もあるかも知れない然しこれは全く無根の風說である現在の狀態では如何なる流言蜚語があらうとも太平洋會議に就て鮮內に騷擾が起るナゾは考へられない然し國外に在る不逞團體が種々畫策を廻らして居るのは事實であつて上海や北京の方面からこれ等の使命を帶びて入込んで居る者も少くない現に本道でも檢擧したのが數件に及んで居る彼等が最初著眼したのは天道敎其他の大團體を說勸めて一味に加へ而して資金を徵收し且鮮內に騷擾を起さうと云ふ一段であつたが鮮內一般

民心の自覺

に依つてそんな事に心を傾ける者は一人も居らない所謂獨立騷ぎなどと云ふことは殆ど忘れかけて居る此に於て恰も好し彼等不逞漢は太平洋會議を利用して餘命を繫ぐべく獨立再燃運動を畫策するに至つたのであるされど鮮內有識の士には朝鮮問題の如き一國の內政に關する事が國際問題を議すべき太平洋會議の議題に持出されるなぞと云ふが如き途方もない事を信ずる者は一人もないから更に彼等に耳を借さないそこで彼等の畫策は全然失敗に歸して仕舞つた然し

彼等不逞輩

もうかして動かなければ立場がなくなるので遮二無二色々の畫策を續けて居る然し今日施すに術のあり樣がない隨つて無謀の大勢既に決して居る此際何も騷擾ナゾあらうとは想はれない彼等も窮餘の策として比較的動き易い青年學生を唆かさんと畫策しつゝある模樣は見えて居る畢竟此度の學生間に無根の事實を喧傳する樣になつたのも不逞漢の所爲で動き易い所から漸次一般に及ばさんとの計畫から出たものである然しこれ等學生も

自覺して

居るから決して妄動する樣な事はない尤も當局としては十分取締つて居るから決してドンな事があつても不[illegible]はさらない時に爆彈やピストル位が見舞ふた所で今は警察機關も備つて居るから更に恐るゝに足らない恐らく自覺ある鮮內有識者は彼等の無謀に動かされる樣な事はあるまい只無智な學生の父兄達は無根な風說に迷はされないで十分安心して可なりだ

別納郵便局擴張

切手別納郵便物の引受は現在京城府廳所在地に於ける郵便局鏡城及大田の各郵便局に限られ居るも通信力の增進に伴ひ其の他の主要郵便局に於ても之が取扱ひを爲さしむるの必要を認め今回歲入徵收官吏を置きある水原郵便局外四十九局を指定し該郵務の取扱ひを開始し公衆の利便を增進せむとする爲め右指定郵便局を五日官報を以て公布せられたり

師團長西鮮視察

淨法寺第二十師團長は西鮮地方守備隊巡視の爲め出張の筈なりしが用務多端の爲め豫定を延更し來る六七日頃黃海道、海州地方より平南成川方面に出張すべし

仁川教育會設立

仁川公立高等女學校長藤井友吉氏外五名（仁川內各公立學校長）より仁川に於ける教育的施設の向上發展を圖り又會員の修養並に親睦を計るを目的として仁川教育會を設立し會に講演部、研究部、體育部、娛樂部、庶務部の部を置き之が設立認可を申請中なりしが十一月三日附を以て總督より認可ありたりと

政務總監參觀
農產品評會

水野政務總監は四日午前九時半伊藤秘書官を從へ目下阿峴普通學校に於て開催中の高陽郡農產品評會を參觀せり

商議副會頭問題
候補者の顏觸は釘本賀田松崎天日氏等
興味湧き來れる

來る十二月一日改選後に於ける京城商議副會頭問題は現副會頭にして京取社長たる釘本藤次郎氏の過般京株受渡紛擾問題に對する失敗より端なくも一部に

反釘本熱

を喚生するに至り漸次一般的に擴大しつゝある模樣にて後任副會頭として早くも殖銀賀田常務松崎朝郵專務天日京信社長等數へられつゝあり而して美濃部鮮銀總裁重任の任命ありたるを以て一度話頭に上りたる有賀氏會頭問題も自然消滅すると共に評議員選擧界は勢ひ副會頭問題に集注さるゝに至るべく果して何人が副會頭を

贏ち得る

か極めて興味ある問題なるが釘本氏は京城商業界の重鎭にして各方面に關係多く殊に公會堂建設の功勞顯著なるものあり且つ同氏副會頭在任中失敗の尠ぐべきものなく單に京取問題を以て直に京城商業界より葬り去らるゝに至るが如きは釘本系の去就如何に依つて決す可く若し釘本氏勇退すとせば問題目下の處賀田松崎の兩氏中何れに決するかにあり松崎氏は

朝郵社長

原田金之輔氏の骨て會頭たる緣故より人物信望の上より寧ろ會頭問題の人たるべく賀田氏は其人物識見共に會頭級の人たるべきも年齡の上より財界の巨頭美濃部氏會頭下に在りては正に適任と云ふべく殊に同氏は朝鮮商業開發に一識見を有し幾多の關係公職に在りて其達成に努力しつゝあり同氏の副會頭就職は是等の方面に

新活動

を期待し得べく時勢に適合せる副會頭として漸次有力となりつゝあり天日氏は一人一事業主義の實行者なれば如何なる事情あるも到底副會頭說は問題とならざるべしと云ふものあり兎に角評議員の選擧戰は逐日激烈の度を加へ來ると共に各候補者共漸次副會頭問題を目標とするに至れるが如し

龍山逐鹿形勢

龍山側に於ける商議評議員候補者は概ね一級議員には執行猪太郎氏を立たしむべく輿論の集中を見たるが之に對抗す可く[illegible]事務員渡邊氏が立候補するとの說あれども此は到底物にならざるべしと二級議員は新龍山に陣內茂吉舊龍山に藏城松次郎の兩氏と略決定的說あれども舊龍山には松本彌三氏が

永年努力し

來りたる功勞沒すべからざるものあるを以て同氏を擁立する者甚だ少しとせず又新龍山には前年學校組合會議員の選擧に勞働黨を以て猪突的に立候補を宣し一敗地に塗れたる中島早太郎氏が會稽の雪辱戰を試むとの一說あり隨つて選擧間際に至り或は大混戰を演出するなきを保すべからず逐鹿戰漸く彩り來らんとしつゝあり

水野總監曰く
大藏省の常套語

總督府の補給金增額要求が中央政府の認容する所とならなければ來年度豫算に計上して居る主要新規事業を止めてしまう計りである然し足りぬ足らぬは大藏省の年々繰り返す常套語であるから總督が親しく中央當局に接衝され朝鮮現下の實情を披瀝されたなら結局豫定通り何とかなるだらうと想つて居る、從つて補給增額不成立の場合に處することは未だ考慮して居らぬ、總督は月末又は十二月初旬歸任さる、暫て入り替りに予の東上する如きことなく當地にて越年議會列席の爲め明春早々出發することゝなるであらう（京通）

兵事々務と龍山出張所

從來京城府內に於ける兵事に關する一切の事務は京城府本廳に於て取扱ひ來りたるが府內には京城、龍山の二在鄕軍人分會を有し管轄官廳たる第二十師團司令部に於ても亦一般事務上及び兵務に在るものに於ても此等の關係上事務複雜を免れざる嫌なしとせず依つて京城府廳に於ても當被者双方をして兩便ならしむる爲め龍山在住者に關する兵事々務の一切を十一月一日より府龍山出張所に於て取扱ふことゝせり從つて點呼、勤務演習、徵兵其他の鐵道乘車割引券等の交付も同出張所に於て取扱ふべしと

大庭大將東上

軍司令官大庭大將は副官小佐治大尉を隨へ七日午前十時八分龍山發東上九日正午着京の豫定なるが先づ天機を奉伺し大臣以下陸軍部內有力者を訪問の後十三日より十五日迄は靜岡縣下の特殊演習を十七日より二十一日迄は大演習を陪觀の豫定なるが狀況上奏其他打合等の都合もあれば來月上旬迄滯在五六日頃龍山歸任のことゝなるべしと

工藤知事觀察

工藤京畿道知事は四日午前十時高見、掛[illegible]兩技師を隨へ高陽郡農林產物品評會を觀察すべく出張せり

極東問題と露紙論調

右黨紙は華府會議に代表派遣の必要を述べて曰く浦鹽政府の代表列席せざるに於ては米國政府及米國の輿論は浦鹽に於ける我國民的政府の施設並に莫斯科政府代理者たる齊多政府に對し公平なる觀念を得ること能はざるべし、故に速かに我代表を米國へ渡航せしめ極東露領の實況を詳細紹介せしむること極めて必要なりと述ぶるに反し左黨紙は華府會議を嘲て曰く華府會議が

軍備縮少

を標榜するは單に外交的辭令に過ぎざるものにして恐らく何人も之を信ずるものなかるべく所謂米人の創意能[illegible]き名稱を案出したるに過ぎず[illegible]て華府會議の無意味なるを[illegible]し且つ各國の熱狂的軍備擴張[illegible]爭の一時息休めなりと喝破せ[illegible]中間紙は華府會議に於ける極東[illegible]問題を論じて曰く日本が華府會議に於て極東露領問題に對して執らんとする主張は其過剩なる人口を露國領土へ移住せしむる件に關し公然商議せんと欲す[illegible]くして滿洲及極東露領に對する

極東問題

に重大なる[illegible]値を置きつゝあるは明かなり卽ち極東問題は寧ろ會議の重要なる事項にして日米兩國間に於て利害の衝突を喚起し以て支那及露國の禍因たるべき諸問題たるべしと云ひ且曰く會議の主たる目的は軍備制限に存すべきも日英米間に妥協成立するにあらざれば本件は到底實現すること能はざるべしと結論せり

人事消息

▲山本遞信局監理課長　三日より一週間の豫定にて新義州平北龍巖浦へ向け事務視察の爲出張

茶話

まだ日淸戰爭の始まらぬ前の明治二十七年であつたか二十六年であつたか多分五月か六月頃であつたかと思ふ。京城學堂に學んだ二十四五人の朝鮮學生が早稻田專門學校に入學する爲めに、小島歸次郎こいふ敎師に引率せられて東京に著いた▲小島君は私の同鄕の友人である、君は當時高等師範の學生であつた私を訪ねて其の東上の目的を語り、且つ今後是等の朝鮮學生と交際して貰[illegible]れるやうに依賴した、私は只[illegible]けもなく私の友人が敎へた學[illegible]であるこいふ事と、其人々が[illegible]時の東京では頗る珍しい學生[illegible]あつた事に興味を喚られて、[illegible]等學生全部を招いて高等師範の[illegible]學生全部と茶話會を開くことに[illegible]した▲石何何こ唱へられてゐ[illegible]米濟稱古場の堅い盤の上で[illegible]を喫り煎餠を咬じりながら、[illegible]方から數人の代表學生がたつて演說をやつた、孰も今後親しく交際して他年兩民族の幸福を計りたいこいふ風の意味合であつた▲流暢な日本語で才氣の[illegible]つた演說をしたのは朴[illegible]ふ學生であつた、此名だけは今[illegible]に確かに記憶してゐる、誰か[illegible]通譯で朝鮮語で話した學生もあつた、是れが私が朝鮮の人々に接した初めての經驗である▲[illegible]風秋雨二十有七年を閲し其時高等師範側から立つて話した樋口勘次郎君だの[illegible]だの云ふ俊才も、もう疾に幽明を隔てゝゐる。其中の一人である私は今京城に來任して操觚に筆を執つてゐる。二十四五の當時の朝鮮學生は果して如何なる境遇にか處する。初冬の寒[illegible]下に往時を追懷すれば感慨に堪へぬのである。

……は午前九時校長以下教職員に引率……大相撲町内屋臺變裝行列等の催……押し掛け見物席は前夜より泊り……後一時……祭執行小學校生徒……美觀を呈せり餘興には素人……お祭り氣分にて早朝より會……市中は二十九日來……次回數を重ね午後五時……レースを最終こして盛會裡に閉……るが當日の呼物たりし……行したる物なるが最始より終り……今回の……競技に就ては內鮮人……青年ご鮮人青年團の合併にて擧

軍人分會遙拜式

【青陽】忠南青陽在郷軍人分會……れり

天長節ご秋祭

……に集合……し正午より儀尾知事招待の祝宴……及統軍亭門樓上はイルミネーション……に不夜城の光景を表し……は領事館の夜會に招待せられ……一時より小學校に……邦人二百餘名六個の食卓を圍み……

有望な間島の牧羊（下）

親羊一番が三四十圓　毛は吉林奉天へ輸出　回教徒が專ら飼育する

支那の牧畜の種類は宗教上の習慣こ關連して居る樣である牛、豚、羊は如何なる支那人も之を牧するが豚は宗教の制裁即ち豚を食することを禁じられて居る回々教人マホメット教を奉ずる者は豚と云ふ言葉も忌み嫌ふ位であるから豚を養ふとは決してしない其の代り牛馬羊を牧するが其の內でも設備の輕便で柔和な羊の類を好んで牧して居る

此理由を以て間島に於ても羊を牧して居る者は大概回々教人であつて其の牧する目的は自分等が豚肉を食せぬより最も美味なる肉を得ん爲め毛皮を得ん爲め又毛を得ん爲である毛皮は防寒こし毛は粗なる者を賤こし細長なる者は毛絲の原料こする若し支那人の門の入口に紅唐紙に回々文こ云つて土耳斯燈の文字の水草風の字を書いて貼つてある此の家は豚のブの字でも口にするは大の禁物である

昨今間島に於ても漸次牧羊する人が殖ゑ彼所に羊群を見る樣になつて大に人目を惹く樣になつて天寶山には喜多葉の牧する百七八十頭の群かありて回々教人が之を牧養して居る銅佛寺街にも四五十の群があり朝陽河にも三四十の群があり局子街にも六七十の群がある此の外には少數の山羊を牧して居る羊族の數は約四百位である數に於ては多い方ではないが大抵蒙古種で毛は細長く光澤彈力があると云ふことである

此羊族の牧養法は支那人が從來よりの仕來りに從ひてなす者であつて種類の改良とか繁殖法又は剪毛法等に意を用ゐぬ樣子である唯牧者が比較的綿密なる注意を拂ひ其の羣の後より唯鞭一本持つて羊を散らし又は之を集める技倆は慣れたもので番犬もなしに此の鞭一本が羊族を自由自在に御する唯一の番犬である之に犬さへあれば申し分ない樣であるが支那種の犬は番犬には不當であつて訓練ができぬこれには西洋犬に限るこは實驗者の話である

羊小家は必要で雨の降らぬ時は外に放牧してもよいが雨降には是非こも內に入れることである冬期に於ても雪の恐れがある故牧羊には其の小家が相當に必要である又野犬こか猛獸の來ぬ地方なれば避夜放牧して置いても差支はない間島の寒氣に對しては防寒の設備をなすことは先づ不必要で全身に綿毛の長さ五寸位のものが密生し天然の防寒の支度が出來てあるこれ以上に防寒の習慣を附する時は寒地に適せぬ者となる

其の食物は牛馬の食するもの何でも食するが先づ鹿の好むものを好んで食する夏は木の若葉若草冬には野山にある枯葉枯草を食して居るか雪積の恐れがあるから盛夏には必ず頭數相當の枯草を貯ふることは必要である夏冬を通じて食料に差支ないのは山羊野羊こ云ふ所に限る相である

黄海道の凶作と仁川廻穀影響

【仁川】黄海道に於ける旱害は豫想以上こ傳へられ甚だしきは僅に二歩五厘の作柄に過ぎざる部落もあるこか近年稀なる慘害こ云つて居る、仁川商圏の主要部分こなつて居る

海州延白甕津 の三郡に亘つては或は平農作で喰ひ止めることも豫想されて居るが何れにしても之が爲め例年に見る仁川廻穀の上に多大の影響を蒙るべきは事實である凶作時に於ける地方小農は多く畑作の代用食を攫る爲に米價が割高であれば其大部分を放賣する事は疑ひなき處であるが其の作柄の劣惡である丈け品質の上に於て殆ど市場に上すだけの價値あるものは勘い結果になるのである仁川の本年九月迄の

廻着穀類數量 は既に十五萬石に達して恐らく百萬を越する統計を示して居るが九年度の如きは或は統計の不離實かも知れないが僅に五十萬石を算りしたに過ぎぬ之は主こして一般的こ看るべき大正八年の朝鮮旱害に影響された事實である今年の黄海道主こして仁川商圏內の作柄は實際に於ては平作に達してゐない即ち旱魃に基く作付皮別の減少は海州郡に在つては三割四分減で延白郡は七割甕津郡は四割五分こ云ふ有樣で

此の收穫豫想 は海州郡にあつては昨年十三萬石であつたのが本年は八萬石延白郡の二十一萬二千石が僅に六萬五千石甕津郡では五萬二千石が本年は三萬四千石こ云ふ歩合の減收を豫想されて居る此の三郡の前年收穫こ本年の豫想こを比較すれば前年の三十九萬三千石に對して本年は十八萬四千石で其半數にも足らぬ斯の如き事情であるから是れは仁川廻米の主要商圏に在る海州郡からの仁川廻穀は本年は減切り減るだらうこ豫想されて居る

元山の新舊人（二）

會つた時の五分間　見た儘感じた儘

▲東拓元山出張所長佐方文次郎君は着任以來出張所の建築やら旅行やらで可成り多忙なやうだ最近北鮮の視察を遂げて歸任したが北鮮の開發殊に羅南市街の發展には多大の望みを囑すに足るこ云つてゐる▲君の前任地は奉天で舞臺が大きい市街の規模の擴大な點に於てはトテモ北鮮などの比で無い、君の眼に羅南が有望こ映じたのだから同地將來の發展は期して待つべしである▲佐方君に曾つて第一に印象を與へたのは君の話し振りが簡潔で駄の無い事である。微笑を含んでゐる温顏の何處かに謙讓な君の性格が窺はれる、君の遣り口は穩健だが斯うこ意を決した時は飽迄斷行するらしい▲十八銀行元山支店長西村宗一君は前任地京城時代既に定評がある腕は支店長中の若手形で君の手腕を評して地味だこ云ふ者もあるやうだが地味の裏には堅實がある君は着任以來一定不變の方針の下に着々業蹟を擧げつゝある事は一般の認むる所、君の營業振りは君の自信の強い事を證明してゐるこ思ふ、前途は益多忙であらう▲吉田商會支配人松本次郎君、歲は若いが元山では古い歷史を有してゐる、君は商用を帶びて內地へ旅行した時多くの場合夜行列車を利用し出來得る限り短時日の間に多くの土地を訪問する、時間の遣り繰りで一ッで一日に二ヶ所は樂に下車が出來る、是れは經費節約よりも時間經濟で身體は少し辛いが宿屋に寢る時間が無駄だこ君は云つてゐる、一事は萬事也でこの一例を以て君の營業家こしての人爲を推知するに足るであらう（元山支局一記者）

朝鮮牛

平和博覽會へ　全鮮から六頭出品

【大邱】全鮮の內地移出牛六萬頭の中慶北は其三分の一即ち二萬頭を占め數に於て正に全鮮畜界中の首位に在るが明年三月頃より七月末迄東京に於て開催する平和博覽會へ全鮮より六頭の出品を爲す筈なるが本道よりは二頭を出品する樣總督府より指令されしを以て目下是が選定中なり

清鳥線第一日

運輸成績概要

【大田】中鐵鳥致院清州間の開通の第一日の同會社の收入並に運輸狀況は鳥致院乘客二百九人降車八十五人客車收入百八十二圓六十五錢貨車收入一圓八錢清州驛乘車二百二十二人降車三百五十八人客車收入百九十八圓五十四錢貨車收入五十一圓五十九錢兩驛合計四百六十四圓七十六錢であるこ

牛市場閉鎖されん

平壤附近牛疫猖獗　當局は不眠不休の活躍

【平壤】平安南道に於ける牛疫は中和順川等一時猖獗を極めたるも當局の措置宜しきを得たる爲め幸大事を見ずして終熄し道衛生部員一同一息ついたる間もならばこそ平壤府對岸船橋里に數頭發生し其他病毒蔓延の徵あり當局にては殆ど不眠不休是が撲滅に腐心しつゝあるも衛生思想に乏しき朝鮮人中私かに病源地より牛を平壤に輸出するものあり爲に先頃釜山に輸送したる牛の中

病毒潜伏期 のものありて同地に發生したる等危險甚だしきを以て此際牛市場を閉鎖すべしこ絶叫するもの勘からず最近各所に牛疫發生こ共に益其の聲を大にするものあるより當局にては調査の結果釜山に輸送したる牛は暫く市場に繫留したる事實あるを以て容易ならずこし近く牛市場の閉鎖を實施するに至るべし是が爲め牛疫發生の他郡より

密に平壤に 牛を輸入するもの等減すべく又病毒慘害を未然に防止するを得べし右は畜牛業者に對しては多少の打擊なるべきも經濟狀況並に食糧問題に對してはさしたる事無かるべし猶道衛生課にては此際徹底的防疫實施に努力し二日より獸醫五名警察官吏多數應援のもこに船橋里の畜牛五十頭平壤府牛車用牛百數十頭に對し血性注射を斷行しつゝあるが一頭に對し藥代共約五十圓を要するにも拘らず無料豫防注射實行しつゝある爲一般鮮人は非常に悦び居れり

速成すべき京南鐵道

經濟軍事何れよりするも重要視せなければならない

京南鐵道　秋本常務談

【天安】京南鐵道秋本常務取締役來天みの爲め投宿中語つて曰く『先月末本府に出張したのは京南鐵道の工程促進變更申請に關してゞあつた我社は大正十七年までに（安城水原間百二十哩）を完成すべき豫定であるが經濟界の經調を具り然も今秋第三回總會に於ても多數株主が促進方に賛成した第三期工事溫泉鎧山間十七哩も來年五六月頃迄開通せしめ鎧山洪城間の工事こ共に天安安城間も同時に起工更に廣川保寧こ十二年十三年迄に水車里迄全通せしめるの希利であることは疑ふべくもないこころから

其の工程に就 て申請したのであるが本府も默からず是に賛成したるもの、如く來月中確答ある筈である愈々安城線が竣工し更に驪州迄延長せんが漢江の水運こ聯絡して忠北江原兩道に藏する無限の物資は最も敏速に確實に天安に集散することゝなるは勿論軍事上よりするも亦重要視せらるべく然も其の交叉點たる天安が異常の發展を示すこ共に

大天安の建設 さるゝの日も遠くはあるまい』こ因に秋本氏は政界疾兒たる島崎二氏及び財界の怪傑渡邊島引氏の經營する何れもの事業に關係し殊に京南鐵道事業に關しては主こして東京支店にありて奔走して天安本社の立川理事こ共に諸事業の進捗に努めて居る京南鐵道の近き將來に於ける成否は兩氏の方寸如何によつて定まるのである

穀物市場設置要望

【大田】大田實業會秋季總會に於て決定したる大田當面の問題たる穀物市場設置、簡易商業學校を商業學校に昇格する件に就き道當局に陳情委員を選定したる白石內藤林尾辻の四名は四日出公の上道當局に市民の熱望を訴へ之れが解決を陳情する由なるが忠北清州に於ても鐵道開通の今日は穀物市場設置は痛切に其必要に迫れるを以て近く設置の手續きをなすべしこ

將校戰蹟視察

【新義州】鐵道聯隊長菅原大佐以下將校十三名は鴨綠江附近に於る戰蹟視察のため二日來新直に義州に赴き同日夕水路安東縣に下り同地に一泊の上三日鴨綠江鐵橋附近を視察し同驛發列車にて歸隊の途に就けり

校舍增築工事

【新義州】新義州公立尋常高等小學校々舍附築工事は過日來當局こ工事請負業者間に於る請負額折合はさりした爲一時行き惱んでゐたが此程確定額の四萬十五百圓で當地濱町北方捨吉氏が請負ここになつた

大邱の有權者

今計四百五十七名

【大邱】大邱商業會議所評議員の選擧名簿は三日より七日迄五日間同會議所に於て閲覽せしむることゝなり居れるが內地人側有權者三百六十名、鮮人側同九十七名合計四百五十七名にして之れを大正八年のそれに比すれば內地人側に於て八十六名を增加せるも鮮人側に於て三十四名を減じ結局五十二名の增加を示し居れり

元山魚價高し

【元山】元山近海は昨今依然鰤の季節で市場は每日平均約五百貫の水揚げがあり鮭は目下盛漁期であるから產地甥興江から續々搬送され市場を賑してゐるが市中の小賣値は品不足の爲めか中々安くない、尤も例年冬季に向ふ時々天井知らずの高値を示す事がある、近年地方の需要が漸次增加を見しつゝあるので今後市中でも昔の樣な投げ賣同樣の安い魚はトテモ食ふ事が出來まいこ當業者は語つた

平北の產業宣傳

【義州】地方產業勃興の機運を醸し最初の試みこして活動寫眞を以て產業宣傳を行ふことゝなり野田道技師は去月廿四日より卅一日に至る間金將世良諸技手等を隨ひ寧邊、泰川、龜城、定州の四郡に對し前後五回の講演をなしたるが何れも千乃至二千名の來集を見頗る好結果を收め得たり

意義ある讀者奉仕

京城日報平壤支局

最近平壤に於る本紙の讀者は著しく激增しなほ日々增加して參ります、依つて平壤支局では讀者への奉仕の爲め十一月より左の催しを實施する事こ致しました

婦人見學團　第一回は十一日

步兵第七十七聯隊、平壤衛戍病院等見學

詳細は別項參照

婦人講座　本月中旬開催

主こして實際生活の上に缺くべからざる各種の講演・擔當講師は知名の人に依囑します詳細追つて發表

盲人慰安會　本月下旬開催

第一盲人慰安會は如何に多數の盲人をして感激の淚に咽ばしめたでせう、第二回は更に有意義に實施したいこ目下計畫中であります

國境僻地の守備兵憲兵及び警察官吏を慰安す

國境には既に冬が來ました、國境や僻地にある守備隊警察官吏憲兵に對し慰安の道を講じたいこ思ひます詳細は追つて發表

朝信委員會

【仁川】朝鮮信託株式會社は來る十一日を以て創立總會開催に決せるが會社重役の最も重要なる案件に就ては尙大體の成案に到らず之が詮衡を急ぐの要ある

大邱市況稍閑散

【大邱】大邱一般市場は目下農繁期に入りて稍閑散狀態にあるが農家金融の緩和こ共に茲一週間を經過せば稻の刈入れも終了すべきを以て市況漸次活氣を呈する模樣にあり而して綿絲布の賣行は今一服の狀態にありこ雖も向寒の節にて農閑期に入らんか相當の賣行を見るべく米作は一般に豫想されし如き凶作にあらざれご米價は相當の高値を保持されて結局農家の購買力に幾分餘裕あるべしこ觀測さる

朝鮮佛教大會

本部設置こ役員の選定

朝鮮佛教大會は社會教化を目的こして大正九年九月元山に於て設立し各地の會員は既に千人に達したから今般京城に本部を置き各地に支部を置いて發展する計畫であるから京城府長沙洞百八十三番地妙心寺に本部を設置し役員は左の如く選定した

▲會長　子爵權重顯▲副會長　[illegible]李□鎔▲理事　中村健太郎、鮮于日、文學主、李仁川、李圭元　△顧問　侯爵朴泳孝、同李完用、子爵李夏榮、男爵李允用、同韓昌洙、同李根澔、朝鮮銀行總裁美濃部俊吉、商業銀行頭取有賀光豐、京城商業會議所副會頭釘本藤次郎、京城日報社長秋月左都夫、朝鮮新聞社長牧山耕藏、丁子屋洋服店小林源六、三十本山委員長洪蒲龍、三十本山總務金九河、三十本山庶務部長姜大蓮、海印寺住持李晦光、臨濟宗布教監督後藤瑞巖、眞宗大谷派布教監督和田?、日蓮宗開教司監[?]逸見和?、淨土宗開教監督久家慈光、朝鮮及滿洲社長釋尾春芿、京城日報營業局長久保要藏、京城日々新聞社長有田純吉、會社重役山口太兵衞、總督府專賣局長青木戒三、漢城銀行專務韓相龍、韓一銀行頭取金漢奎、中樞院參議劉猛、中樞院參議鄭?

仁川倶樂部例會

【仁川】仁川倶樂部會は會場閉鎖後例會を廢して久しく會合の機會なかりしが來る七日久し振りに例會を開きて本年度の會務報告を爲し評議員の改選を行ふべく併せて鮮銀磯野氏殖銀[?]熊野氏の送別會を兼ぬる筈會場は東洋軒明日は七日午後六時開會

銀行會社

大田溫泉會社事業擴張

【大田】儒城溫泉を經營せる大田溫泉株式會社は殆ご金甲淳氏親族者間に於て之を買收し其の事業の刷新すべく之が其第一着手こして從來大田に於て經營せる自動車の營業權を會社に移し普通浴客二割引公共團體は五割引こし其外營業權を擴張し鳥致院公州間の運轉をなす事に決し社名義を以て之が許可を其筋に出願し順次旅館は勿論浴槽等の改修又は新築をなすこ

殖銀舍宅新築

【全州】金堤殖銀支店にては驛前に工費約六萬圓を以て行舍の新築を爲し居れるが支店長の舍宅及び行員の舍宅數棟は三十一日上棟式を行ひ餅撒きを爲せり

地方集會

△鎭海林旅團長披露宴　新任鎭海林旅團長は五日夜安義面[?]櫻町料亭伴二隊新舊の招待者十數名を招き新任披露宴を催す由尚警察官民數十名を招待

地方人事

▲鎭島非平氏（平壤實業家）三日發二浦へ▲一柳村五郎氏（同上）令兄危篤の報に接し三日正午急遽歸鄕▲中野太三郎氏（平南道警務部長）新任挨拶中の處三日午後四時列車にて歸任▲伊吹潮三氏（前鐵道理事）新義州同作二日歸京▲秋本氏（京南鐵道常務取締役）忠南道廳に出頭四日歸天（天安）

南鮮劍道大會

日時　大正十年十一月六日午前九時開始
會場　大田小學校々庭（雨天の場合は大田座）
主催　大田教育會

【大田】大田教育會主催の南鮮劍道大會は既報の如く六日の日曜を期し大田小學校々庭に於て開催する筈なるが之に就き同會では此の空前なる大會を無事に了せしむべく左の如く係員を囑託し二日午後七時より大田武德館に於て協議會を開き夫れ〳〵關係係員間に萬事の打合をなし十二時過ぎ散會したるが當日出場すべき各地よりの劍士は有段者多く其數は既に百餘名に達し在住の各鮮劍士を合せ三百餘名に達し居れば當日の盛會は想像に難からざるものあり係員は左の如し

委員長　國本幹太郎　副委員長　谷川[?]……本宰太郎……（以下係員氏名略讀不能）……會場設備係……

浮草（98）

入江新八作　中川早苗畫

凉風（四）

その次の日から道代の生活はガラリこ變つてしまつた。彼女はころりこするこ直に起て、それから塵埃だらけになつた此の汚い家を拭き掃除をした。丁度宮崎が電燈が消ねてから、隨になつてまた眼をさまさない間に、炊事をする方の何やかやを洗つたり磨いたりした。それから、格子戸を拭いて、前を掃いて、打水をした。

道代は頭髮に手拭を冠つて、襷をかけてゐた。さうして裾を端折つてゐた。

近所のおかみさん達は變な顏をして道代を見た。そして、一寸挨拶こもつかない會釋をした。

道代は丁寧にお辭儀を返して、せつせこ立ち働いた。

『お隣には奧さんが來たんですね。』

『さうね、奧さんでせうかね。妹さんぢやないか。』

『さうか知ら、だつて、些も似てゐないぢやないか……美い女ですね。』

『さうね。何でせう。何處かへ出る女優ぢやないこ……』

『さうでせうか。女優にしては少し素人臭いぢやないの』

『女優の素人なんでせう。此の頃よくある新しい女優ぢやないの。』

なここ、おかみさん達は立ち話をした。道代にはその話がチョイ〳〵聞えた。

『人の氣も知らないで……私はもう尼さんの生活をするのだわ』

さう心の中に思つた。さう思ふこ、自分の心の淨らさが、すつきりこ胸をすかすやうで嬉しくなつて仕方がなくなつた、今の一睡で身體の疲勞もすつかり洗ひ流したやうになつて、いそ〳〵こ立ち働くここが出來た。

道代はそれから勝手へ行つて、よく方附いてゐる板の間を見廻した。

其所には小さな米櫃にお米が大分這入つてゐた。今迄宮崎が皆子こ暮してゐた時の世帶道具を其儘此所へ運んだのこ見ゑて、何やかや都合分用の足り餘る位に揃つてゐて、狹い臺所に置ききれない位だつた。

道代はお米を磨いだり、炭火を起したりした。斯んな家には瓦斯は來てゐなかつた。

其内御飯が炊けた。それから、おみおつけをこしらへたりした。其聽て、宮崎は目をさました。

昨夜から道代の家を見廻し乍ら、道代が自分の家に來てゐることを思ふこ、彼は何こも言へない嬉しい氣持になつた。急に心が晴

『……何だか其所等が別の家見たいに綺麗に方附きましたね。』

『さあ、お顏をお洗ひなさいまし、お冷が其所に取つてありますわ。……』

よく磨かれた金盥に滿々こ水が張られて、縁先にシャボンこ一緒に出してあつた。宮崎は楊枝をくはわ乍らまだ夢みてゐるやうな顏をして縁先の方へ行つた。

道代は、食卓をこしらへてゐた。不圖、二つの茶碗を拭巾で拭つてゐる時に、賴のここが心に浮んで來た。賴を戀しく思ふ心が通り雲のやうに過ぎ去つた。すると、また秋子のここが思ひ出された。

『食事を終つてから秋子先生に丈けはお手紙を差上げやう……秋子先生は私を何う思つてお出でせう。』

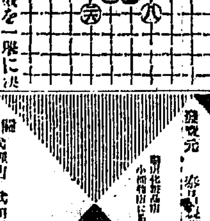
道代は思ひ乍ら、暫く忙然こしてゐた。

京城黄金町二丁目　寫眞材料商　島田誠昌堂　電話番九[?]九番

トランク　カバン　向井商店　京城本町二（電話二四八四番）

通信戰譜（廿四）

鮮內聯珠　先番　高橋　新盛　大藤　良男（京城）



△廿二珠は本手△六は勝敗を一擧に決せんこする手段にして而して後安全也△十を十四に先づ引くべし黑悲張りて十八に來ぜらる……

デアテルミー機の効果實驗　京城日報代理部（電話二七四八）

施術時間は每日午前九時から午後四時迄

△難病に惱む人は速かに物理療法を施されん事を御勸めします慢性の難病でも速かに快癒するものが澤山あります

△神經痛やリウマチス、脚氣や淋病性關節炎、睾丸炎、淋菌性或はリウマチス性心臟內膜炎は勿論のこと、慢性の胃腸病や腎臟炎や婦人病などには卓効が有ります

△痛風ルイレキ腋臭横痃や水蟲の如き頑固な皮膚病など藥の効驗ない病も全癒します。

宣傳　御入浴に……化學的……美爪石鹼　御化粧に……

ハーター　白くなる　過酸化　石鹼

發賣元　[illegible]　四代理店　武田長兵衛商店

朝鮮の模範人物を教科の資料に

各學校の教科書中へ挿入すべく事實調査開始

總督府が新たに編纂する

朝鮮總督府にては新に編纂する普通學校及高等普通學校教科書中に鮮内模範人物を調査挿入すべく各地方に左の條項を標準として報告を命じたるが蒐集の上は國語及修身書中に入る物なり

一、孝節、淑愛、勤儉、恭敬、信實、勉勵、修養、公益の徳ある者を採用する

一、一般士農工商の階級より

三、模範人物の論言實行を調査する

右に付京城府の調査役たる知覧學務主任は語る＝報告期は客月廿日迄に既に期限を經過してゐるが何分金甌無缺の士としては其の撰擇に苦しみ居り其の製に於て云々の問題等起れば折角教科書中に挿入するも教科書の權威に關することゝなるので要するに餘程人格者ならばいざ知らず没後に於て挿入するが當然なるが此意味に於て當府は遂に一人も其人物を見出さなかつたのだが他地方も又同一の轍ならんか云々

◇想ひ　コダック會貳等當選印畫　京城杉山富氏◇

伊達より實用へ 襟巻の流行は變つた

從來の絹物は賣れぬ

色彩は歐化＝模樣は大柄物

十一月といふとそろ／＼襟巻の戀しくなつて來る頃で各商店でも變つた珍らしい趣向に腐心して品物を集めて居る一體襟巻といふものが今日では所謂伊達の時代を通り過ぎて全く

實用の 時代に向ひつゝあることは明らかな事實で從來流行して來た絹物の襟巻等はトンと流行せぬ模樣で殊に昨今の雨天續きで冷氣が例年より烈しい爲め絹物は製作しても更に賣れないために大分困つて居る商店もあるさうだ、で今年の傾向は何んなものかと新橋の賣出化粧品部を見ると一般に溫かい實用的の襟巻を要求する時代になつて來て居る即ち

防寒用 のものとして●・●らくだ、ふらんね、羅紗、ボア等が旺んに流行して居る色彩は總てに於いて歐化して友禪ものでも在來の日本の色でなくオールドローズ、グリトン、ホワイト等皆日本にない歐化した新しい色彩を見せて居る、又模樣も大膽大柄物が多く餘りケバケバしいものは癈れて來た尚絹莫大小のショールは伸縮自由で肌ざはりも非常に好く輕くて

溫かい ので賣れ行きは頗る好い値段はラクダで十二三圓からボーアで八九十圓見當絹莫大小で十三圓前後である要するに友禪式の薄い冷たいものは自然に滅び行き溫かい毛物の全盛時代に變遷して來たことは最も新しい現象と言はなければならない（東京）

櫻井校の記念文庫

此の十日頃は開館の運び

豫て櫻井校の母姉會が同校生徒保護者の計劃として設けられた東宮外遊記念文庫に對し尚一層母姉の奮發こして兒童の爲めに意味深からしめ紀念の文庫をしてより光輝を添へんとの意向から其の閲覽所なる圖書館を建設の事は既報の通りであるが此の殊勝な母姉達は同會が昨年以來或る一つの目的の爲めに晒賣りや或は絞り染或は靴下或は下駄の鼻緒作りなご零碎な利益を集められた事業資金の全部をなげだし其他多少の不足を見越し約千六百圓の豫算を以て先般九月下旬工を起した圖書館は起工以來豫定以上に捗り其の規模こそ十二坪こいふ小規模なれごも兎も角も母姉會員達の獻身的事業の爲こて其の設計等に於ても特に總督府勤任技師の厚意によつてされた所謂模範的の圖書館にて今日まで既に九分通りの竣工を見、愈此の十日頃には全部の工を終へて夫々開館の運びに到る筈であるが之れまで母姉會殊に役員夫人間には少からぬ苦心こ長い間の勞力こが拂はれたが其の尊い社會奉仕の念は同校講堂横手に燦然こして愈築き上げられた

少年小說 歸つた兄（中）

藤川淡水

利雄は、弟の松雄の言葉に從つて十日の經つのを待つてゐた。松雄は何のために十日間待てこ言つたのか分らなかつたが、此の場合待つより外には取るべき手段がないからであつた。

けれども利雄には決心がついてゐた。それは再び家を去るこごであつた。再び家を去つて、再び放浪の旅に出る事であつた。

十日の日限が切迫した。松雄はその間に幾度も父に向つて、兄の罪を許してくれこ希つた。

父は頑こして許さなかつた。

『ひゞの入つた茶碗が何の役に立つものか、早晩こはれるまでだ。俺はそんな茶碗に用はない。打捨つておけ……』

こ父は荒々しく言つて顔をしかめた。

ひゞの入つた茶碗！利雄は果してひゞの入つた茶碗であらうか父は眞にさう信じてゐるのであらうか。松雄は兄をひゞの入つた茶碗こは思つてゐなかつた。父も眞にさう信じてゐるこは思つてゐなかつた。

十日の約束が明日に切迫した。明日がいよ／＼十日目である。

松雄は一室に籠つてぢつこ深く考へこんでゐた。

松雄は十日間に父の心を和げ得る自信があつたのである。それがすつかり畫餅に歸した。內心はごうであるか分らないが、表面上父が兄の罪を許してくれる希望は今分のこころではないのである。

もし父が兄の罪を許してくれなかつたらばこいふ問題によつて松雄が考へてゐた答案が一つあつた。

それは松雄自身が家を出て、父母の愛を利雄一人に注がしめる希望であつた。併しさうまでしなくこも父は兄の罪を許してくれるであらうこ思つてゐたのである。こころが今その希望が畫餅に歸して見るこ、松雄は家出を實行して兄を救ふの外に道はないこ考へた。

『仕方がない。さうしよう。さうしたら僕に對して、きつこ兄さんの罪を許して下さるだらう。』

松雄は遂に決心した。父こ兄こに宛た二通の書面がやがて認められたのであつた。

『……ごうぞ兄さんの罪を許して上げて下さい。兄さんはひゞの入つた茶碗ではないこ思ひます。兄さんは立派な心の人こなつて歸つておいでになつたこ思ひます。……私はこれから東京に行つて獨立します。私はそれまで國へ歸りません。父上樣、ごうぞ兄さんを秋山家の相續人こして下さい。元通りさうして下さい。……兄さんは私の分までも御兩親に孝養を盡して下さることの出來る人こ信じます。……私のことは決して心配をしては下さいますな。たゞ兄さんを愛して下さい……』

父に宛て書いたもの、中にはこんな文句がつゞりこまれてあつた。

『兄さん。私は東京へ行きます。私の分までも御兩親に孝行して下さい。……父上樣は私の罪ご共に兄さんの罪をも許して下さるであらうこ思つてゐます。……兄さん、あなたはごんなことがあつても秋山家を去つてはいけません。私のたゞ一つのお願ひはこれです。……』

兄に宛て、書いたもの、中にはこんな文句が書かれてあつた。

松雄は二通の書面を殘してその夜のうちに住み慣れたわが家を去らうこした。

併し松雄のこの計畫は失敗に終つた。二通の書面を認め終つてそつこ裏口より忍び出ようこするこころを兄の利雄に發見されたのであろつ（つゞく）

明治町市場

人氣を博した

今後も可及的値上せざる方針

京城明治町公設市場が開業記念を兼れ市價調節の目的を以て去る廿九日より本月三日まで六日間仕入れ元値の賣出しを行つた處想外の人氣を博し毎日平均六千人以上の入場者を算するの盛況を呈したが雜沓のため折角入場しても同市場の誠意こ値を知る事能はざる顧客の少からざるを遺憾こし四日まで元値賣出しを日延したが之がため品切れこなれるもの非常に多きより五日は臨時休業し販賣品の整理をなす事に決定したが今後の販賣方針に就ては出來得る限り現在の安値を持續し萬止むを得ざる品に限りては幾分の値上げをなすの餘儀なきに至るやも計られざるも兎に角同市場は市民の福利を第一義こし商業道德を重んじ府當局の嚴重なる監督の下に發達を計る方針であるこ

校長や男女教員が絹紬子の密輸

生徒を引連れて修學旅行の途次見さる

【新義州】平南安州私立維新學校生徒五十一名は同校長以下職員引率の下に二日來新各所を觀察し同日安東縣に赴き夕刻再び新義州に來たが其際校長金廷奎（邢縣教長老）他數名の教員は孰れも絹紬子等を窃かに持ち密輸を企てたが鴨綠江鐵橋南岸にて巡査の爲に發見され稅關吏に引渡された取調べの結果女教員中には袴の中に縫込んで居たものさへあつたさいふ

東大門小學校學藝會

東大門小學校にては本年を以て創立五週年に相當するので去る三日午後一時より之を祝賀する意味で同校講堂で學藝會を開催した小國旗こ同校徽章こをあしらひたる校舍の裝飾先づ氣持よい感じを與へてゐた數條の萬國旗を張り渡したる會場の正面壇の背面には黑布を以てバックの輪廓こし上部には『祝創立五週年』の大額を掲げたのが如何にも品がよい壇の左右に引張られたる紫幕『カチ／＼山』を巧に書き出された背景まで周圍の師裝こしつくり合致して極めて簡單ながら高雅なる中に落着きを見せてゐる開會前既に場內は來賓及父兄母姉を以て埋められて居つた中原首席訓導の開會の辭に次いで演技二十三回談話あり朗讀あり唱歌あり趣味ある理科實驗あり或は無邪氣に或は優美にいづれも聽衆をして感嘆せしめ滿場の喝采裡に閉會を告げしは午後三時半實に意義ある學藝會であつた

密輸總額廿萬圓

犯人新義州に檢擧さる

【新義州】新義州警察署では數日前阿片モルヒネ等密輸の犯人を檢擧したが本事件には多數の連累ある模樣で司法係りは昨今大活動中である尚其密輸額は三十萬圓以上に上つてゐるこ

珠算競技會

府內水下洞公立簡易商業學校にては來る七日午後六時半より同校生徒の珠算競技會を開催する由

鮮人運轉手公判

十六名を殺傷した 同僚の運轉手被告

李判能に有利の證言

本年六月二日未明十六名を殺傷したる市電氣局新龍山車庫詰の鮮人李判能（二六）殺人事件の第二回公判は一日午前十時半より東京地方裁判所刑事二部宇野裁判長古田檢事係り塚崎川名筒浦菅沼外三名の辯護士列席開廷、證人こして喚問されたる隣家山崎本吉の妻やを（五九）及運轉手にて戶塚町六に居住の谷辰藏（四二）を訊問したるにやをの陳述は不得要領にて谷は被告に對し有利の證言をなし次に塚崎辯護士より被告の兇行當時の精神鑑定を申請したるに裁判長は合議の結果之を許可し本月三日に精神鑑定することして午後一時閉廷せり

農林產品評會褒賞授與式

威鏡郡農林產物品評會にては來る九日午前十時より平澤公立普通學校にて褒狀授與式を擧行

北鮮の義太夫界（一）

◆元山に稽古場無し◆ 元山にはつい最近二名の師匠があつたが都合上前後して引揚げる事になつた、この一師匠は人は大阪者なるも他の一人は九州出身連中は兩派に分れてゐる

▲北鮮こ詠 元山も無論だが北鮮一帶義太夫の詠さ云ふ事には餘り重きを置かぬやうだ、元山などでも一名の師匠が九州仕込みで詠などは眼中に無いさ來てゐるから連中は質に於て義太夫の至り殊に初心者が多いのだか義太夫の發達などは中々發束無いさ云はねばならぬ元山にも稽古を初めてから二十年以上になる古參者もあるが詠な關はず義太夫を理解せず唯讀本式に語る有樣であるから全くお話にならない

▲師匠を選べ 元山を初め北鮮一帶、今迄稽古臺こして來た者は多いが先づ師匠こして恥からぬのは鶴澤才六、竹本筑後太夫、竹本綱島太夫位ゐのもの、今後義太夫を上達せんこ思はば大阪出身にて義太夫を理解して數へ得る新進者を招聘し一般でも滿足なものゝ位ゐが得策、何十冊習つたこ自慢しても讀本式では何んの役にも立たぬ、詠の無い好き聲な登にれはならぬ

▲竹本綱島太夫 目下稽古臺こして咸興にあり三味線は不得手なるも聲は惡くない時代物が得意

▲西湖津の光彩 川田光彩君は西湖津に居住し北鮮では古參者だが昔語りには詠が無い

▲城津の師匠 城津に大吉さいふ女師匠あり稽古臺こしての適不適は別問題こして詠は無いさうだ

今日の菜

春菊汁 豚肉をたゝき擂鉢に入れてよくすり鍋へ肉一斤に玉子二ヶ位を割りこみ醂砂糖醬油で味をつけ小指の先位に丸めおき別に椎茸隱元を線切になし干海老を細かにきざみ春雨（フンデク）は水につけふやかしてざるに上げて三寸位に切りお鍋に少量のラードをこかした中ににんじんに切つた葱こ生姜を少し入れていため前の椎茸こ干海老を入れ一緒にいり醬油、酒、みりん等で適宜に味をつけよく炎へた所へスープか湯をたつぷり入て汁を作り上に浮かぶ泡を掬ひすて味をみて先のいんけんこ春菊及び肉團子を入て暫く煮る松茸こか筍こか季節に依つて入れてもよし

卓ちの開きもの

京龍館 來る五日より寫眞取替、實寫『アビシニヤの風俗』滑稽『愛の力』二卷泰西活劇『東洋の寵兒』全五卷新派悲劇『戀の犧牲』全五卷舊劇『菲子典膳』全五卷

中央館 三日より寫眞差替實寫『米國セーリが辿跡』滑稽『日本紳士』舊劇『伊達娘水軒』五卷

第壹回貸借對照表

資產ノ部

未拂込株金	[illegible]
創立費	[illegible]
新築工事費	[illegible]
起業費	[illegible]
地所	[illegible]
什器	[illegible]
前拂金	[illegible]
假拂金	[illegible]
契約保證金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債ノ部

株金	[illegible]
假受金	[illegible]
契約保證金	[illegible]
未拂利益金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通リニ候也（大正十年十月）
朝鮮[illegible]株式會社
取締役社長 松本民介　專務取締役 關繁太郎　取締役 岩本善文　同 戊補國松　同 藤富彥太郎　同 佐野五郎　監査役 南源衛　同 岩田仙太郎　同 增田一穗　同 篠崎半助

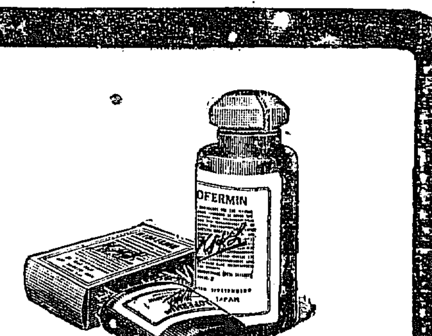
鮮滿一手發賣元　タオル　ハンカチーフ　卸商
撚糸製タオル諸物
エムテー印
立鹿印タオル　白無地特製
京城草若町　上月商店　振替京城五三三一番　電話一〇三五番

內科 小兒科 外科 花柳病
松本醫院
仁川宮町　X光線科 電氣科　電話三四五番

アツシトンビ　舶來メルトン製六圓　四種　御上等品
古證文 手形 諸債權 整理處分 高價買入讓受 代理取立
大阪市外　株式會社

梅毒丸　壹圓七十錢
湖南里本舖　肛門藥商會　特約募集す　振替京城五六二一番
注意　ぢノ手術ハ肺病ヲ來ス恐アリ又子孫ニ遺傳ス他ノ外用藥下痢劑ニ非ズ
切らずやかずに根本的に呑でなほるや家傳

無效 藥價 返金ス
ぢ 如件
七日分 金壹圓三拾錢 送料 金拾錢
いぼぢ、きれぢ、あなぢ、だつこう、出血、よこね、かんそう、しよかち、りん病、ばい毒



整腸消化劑
ビオフェルミン
優秀なる腸內制腐・整腸・消化・の効果を奏する本劑は總ての腸疾患に對し治療及豫防劑として乳酸菌劑中第一の聲價を有す
粉末及錠劑あり……全國知名の藥店にて販賣す
製造元　神戶市二番町二ノ一　神戶衛生實驗所
發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衛商店
134.

資本金壹百萬圓
株式會社ソーウル社
〇〇有價證券ノ賣買
〇〇動產不動產ノ擔保貸付
京城府黃金町一丁目壹百四十三番地　電話二三〇三番
今回京城現株取引信託株式會社ノ株式ヲ取扱ヒ保物ノ中ニ加ヘ尚ホ現在創立中ニ在ル『第二京城現株取引信託株式會社』ノ株金ノ立替拂込ノ御便宜ニ應ジ申候

眞綿製　チヨッキ類　各種
眞綿類一式
眞綿問屋　武井商店
名古屋市西區玉屋町一　電話長東一〇一番　振替名古屋一七〇四七

開店記念賣出し
十一月五日より向三日間
萬緑時下秋冷の候愈御清適奉賀候陳者今回左記の場所に於て毛物卸問屋開業仕候就ては最新奇抜の品取揃へ且最近新柄出來致し一層勉強利益を旨こし御得意先へ御便利を計り多少に不拘御用命の程奉希上候　敬白
愛知縣一宮市本町　合資會社 岩井藤商店　長電話二五九　電略（マルイ）
京城黃金町三丁目三百十番地　合資會社 岩井藤京城支店　主任 角川大三郎　長電話七八六　電略（マルイ）

在庫品御案內
一、獨逸ヘキスト製 サルバルサン ネオサルバルサン 各號
一、佛國ボーレンク製 ネオサルバルサン 各號
一、臺灣製九十四%九十五%酒精
一、瓜哇產九十六%酒精
一、重炭酸曹達百十二封度樽入
一、麻糸麻袋ノロチ縫フニ用フルモノ各種
右多少ニ不拘御用命仰付奉願候
大連山縣通百十一號地　株式會社 濱崎商店

わたふとん
龍山元町二丁目　丸喜商店　電話八〇四　振替京城八九〇四番

外科 內科 皮膚科 黴科 X光線 K.S式ヂアテルミー科
京城旭町　島崎病院　入院室 電話一七三六番
院長 正六位勳四等 島崎龍一

獎忠壇グラウンド

自轉車競走大會 いよ／＼明日から
人氣彌が上にも高潮す

日曜の郊外散歩は此日曜が最後で又朝鮮内の秋の催し物は此自轉車大會が本年の掉尾となるであらう今回の大會は京城輪業會…者期待するもので並に全身の血躍し再選に再選を行ふ事で當日の館大見物であらう競技は午前九時より開始されるが順次…選手及び餘下選手の優勝者を網羅し…では何人の…も優待し出來る限り好場所の配給をするこ云ふ…秋の最終の休日を自轉車にて…

盟邦の皇儲の御巡遊地の檢分
西園寺式部次長等
身延山から天龍川へ出る

明春四月御來航の英國皇太子殿下を御接伴申上ぐる爲め宮内省にては種々詮議中であつたが愈々今二日早朝英國皇太子殿下の御巡遊あそばされる候補地視察の爲め西園寺式部次長渡邊式部官、秋元鐵相秘書官内匠寮の菊池技師等の一行は東京驛を出發する事になつた、第一日は直に小田原に赴き目下新築中なる閑院宮邸の下檢分を爲し箱根宮の下御用邸に到りそれより長尾峠を自動車にて突破して御殿場、富士山麓の景勝の地を探り富士驛より身延鐵道にて身延に出で甲府より信州伊那飯田時又を經て天龍川を下り六日歸京の筈であるが伊東車馬課長は二日自動車にて小田原に赴き一行と合するの筈である

軍艦攝津英皇儲御召艦に内定す

【呉發電】呉軍港所屬軍艦攝津は明春御來朝あるべき英國皇太子殿下御召艦に内定したるやにて未だ公表せられざるも着々之が準備をなし居れり因に同艦が今回關門海峽を西より東に夜間通過したるも之がためなりと云ふ

飛行中火を發し墜落燒死す
民間飛行家佐藤彰氏
武石助手と共に無慘の死
原因は發動機から

【千葉發電】三日午後三時半千葉縣津田沼伊藤飛行場にて佐藤彰(三)氏操縱武石某(助手)同乘の飛行機飛行中火災を起し盛んに燃ゆつゝ墜落し兩氏共無殘の慘死を遂げたり原因は發動機より火を發しガソリンタンクに點火せしためなり

墜落原因は素人を同乘させた爲め
錐揉を演じた時恐怖に駈られて前にのめつた

千葉縣津田沼伊藤飛行場教官佐藤彰氏は助手武石眞三氏を同乘せしめ伊藤式ローン『あきら』號百二十馬力を操縱し練習飛行中突然機體に故障を生じ三百米突の上空より津田沼町鷺沼地内總武線の下り本線々路上に墜落し更に堤下に轉落せるため發動機より火を發し兩氏とも無慘の死を遂げたり原因は武石が飛行機には初心なるに其熟練せぬものを前部同乘席に乘せたるため錐揉を演じたる際武石は恐怖し前部のハンドルに觸れたるものらしく夫れがため機體の平衡を失ひ後部操縱席にありし佐藤氏の操縱自由ならざりし結果墜落せしものならんと
佐藤氏は秋田縣の人帝國飛行協會第一期生にして來春擧行の九州青島間海洋橫斷飛行の參加準備中なりしと享年二十六歳武石氏は愛知縣海原郡生大正二年米國に渡航しカーチス飛行學校に學び同六年一月歸朝したる人にて享年十九歳なり

嚴めしい鐵扉から自由の光を浴びて
きのふ出獄した十六名
互に堅く手を握り『久濶』と
妙齡な女學生宣教師出迎ゆ

天道敎徒を中心として行はれた第一回朝鮮獨立騷擾に加味し公安法違反出版法違反の二罪名の下に京城郊外麻浦の京城監獄に二箇年の苦役を恙なく了へ三日期滿了した京城府壽昌洞協成普通學校長朴熙道以下十六名は四日午前十時久方振に自由の身となつて出獄する事となつた四日出獄の報に接した親族知己は當日未明より京城監獄門前に出迎へ零度以下の寒さにを厭はず嚴めしい鐵扉の開くを待つて出迎の群衆は刻々其數を增し午前九時に約三百を算し出獄者出迎の自動車十餘臺は電車道の門前近くまで列なり群衆は三々伍々囁き合つゝ續々として集まり門前を埋めた門内の出獄者は一先づ調所に四名宛呼出され家族の者が心を罩めた新調の衣服を受取此處で二箇年間著馴たカーキ色獄衣を返還して暖かい晴れの出獄衣と著換へ門前の模樣を想像しつゝ出獄を待つて居るやがて午前十時表小門の鐵扉が看守の手に依つて開かれると附添人に護られた朴熙道の顔が喜色滿れて見ゐると續いて李弼柱、朴東完、金元璧の血色の好い姿が現れた、四名の姿を見た門前の群衆は雪崩の如く闖んで互に手を握り久濶を述べ健康を祝し合ふ機外見の見る眼も樂し相に見わた此の出獄の喜びの場面が一しきり續くと一人宛友人の手に依つて人垣を別けて待構へた自動車に乘つて附添ひに取まれて歸路に就いたが門前の群衆は己の期待する人の顔が現れる毎に囁き合ふ二回三回と出て來る出獄者を迎へて四回目の四人を以て全部出獄が終つたが出獄者の何れも數日前より特に典獄の心遣りで頭髮の整理をして髮を梳つた者奇麗に刈込んだり各人が血色の好い事は二ヶ年の苦役を續けた者とは思はれない門前五百に近い群衆は何れも顔觸に出迎へ其中に妙齡な女學生多數と外人宣教師の數名あつた事は人目を引いた斯くして十一時過ぎ出迎の群衆去つた跡には冷たい鐵扉の中から獄内の囚人の立動く音や鎖のずれ音が聞ゐて來た尚西大門監獄からは同日李鍾勳一名出獄した

夢さめて世に出づる人々（四日京城監獄にて）

悲劇「白蓮」
何故死んで呉れぬ
せめて尼寺にでも入つてくれたら
昂奮の結果聲を放つて男泣き
兄義光伯爵一切の人目を避け悄々
事件發生以來の人知れぬ思を語る

伊藤柳原兩家の交渉は一日午後七時から秘密の内に行はれた東京丸の内工業俱樂部の親族會議で圓滿な解決を告げ與平伯からアキ子の離籍に關する條件を提示して兩家の承諾を求め柳原義光伯、伊藤鐵五郎兩氏立會與平昌泰伯が署名調印した二通の覺書を作製して交換しアキ子は…ずに伊藤家を去る事となり改めて同家から戸籍を送り返すと共に近日柳原義光伯が西下して伊藤家に謝罪の意を表する事となつた、表面上與平伯の手で無條件降服と云ふ事を發表されてゐるが兩家の間には尚ほ細部に亘りて交渉を進め財産處分問題に就ては
一、アキ子の所有なる衣類、寶石其他一切の調度品（約五萬圓）全部をアキ子本人に返るとして之れをアキ子の實家柳原家に託し
二、アキ子名義の土地、家屋、株券約二百萬圓は全部伊藤家に…更して之を伊藤家に返還する事に決定する模樣である尚ほ當夜の親族會議は柳原家側より義光伯、室戸、入江爲守、義光伯の養子博光の四氏、伊藤家側よりは伊藤氏の親友として龜生太吉、伊藤鐵五郎、伊藤氏養子秀三郎叔父に當る與七郎四氏之に與平伯を加へ工業俱樂部の四階の日本室で一切人目を避け嚴秘の内に協議されたが義光伯は事件發生以來の苦衷を物語り此頃は夜も寢れず自己の地位や家柄や將來の事迄思ひ煩ふて病人の如く夜半起ねず床を敲つて起つ事もあり何故妹子は死んで呉れぬか尼寺に入つて呉れぬかと昂奮の結果聲を放つて男泣きし一座全く聲を吞んで伯の心中を思ひ貰ひ泣きをした相である斯て愈々アキ子が伊藤家を去つた後に於ける柳原家の態度は與平伯からの注意もあり同家では至急親族會議を開いて入江家、三室戸家、樺山家と協力してアキ子を柳原家に引取り一生同家にて保護する事とし何ほ同人に改心を求めるべく宮崎氏との間の情の見られぬ際は止むなく宮内省を通じて柳原家から離籍する事となるべく宮崎氏との間の結婚問題に就ては柳原家としては世間の手前もあり絶對に承認する事が出來ぬこ伯も飽を固めて居る模樣である（東京）

金澤廣島郵便飛行
一機のみ目的を達す

【廣島發電】金澤廣島間郵便飛行は三日を以て擧行民間六飛行家勇躍して參加し午前九時前後出發したるが途中各種の故障頻發し小栗、福永兩氏岡山練兵場へ石橋氏は福山へ其他凡て途中不時着陸したるが高橋氏のみ午後一時二十分無事目的地たる廣島練兵場に着陸し得たり

新聞王京城へ來る
大阪見物後瀬戸内海巡遊八日下關發九日入城

【大阪發電】ノースクリフ卿は六七兩日大阪見物瀬戸内海を經八日夜下關發釜山に向ひ九日京城着北京滯在は三日の豫定

安田家の相續人は未亡人に決定
同時に寄附の件も
決定した親族會議

【東京發電】安田家の親族會議は三日午前十時より本所横網の邸奥の大廣間にて開會列席したるは故翁未亡人フサ子刀自をはじめ善之助、善五郎、善雄の三子並に武井守正男の顧問なるが善兵衞は平塚氏に靜養中にて又善三郎氏も姿を見せず斯くして法學博士志田鉀太郎小倉德之助兩氏も參與人として列席開議劈頭善五郎氏の發言あり會議の中心問題たる安田家の相續人は未亡人フサ子刀自を以てすべしと述べ一同等異議なく之に贊し會議は僅々二十分にて了れり尚席上三百五十萬圓を東京市へ其他四百萬圓を各所へ寄附する事をも非公式に決定したり

大邱署色めく
某重大事件
に關聯あるか俄然
緊張し來れる氣配

【大邱】大邱警察署搜査主任前田警部補は去月廿二日鮮人刑事二名を隨へ慶南密陽に出張し鮮人數名を拉致して廿四日歸任爾來人目を避け樓上會議室に於て關係者以外の出入を嚴禁して秘密裡に取調中なるが昨今同司法室は俄然緊張味を帶び内鮮人刑事數名は某々方面に活動を開始する等漸く色めき來れり事件の内容に就き仄聞するに忠北報恩郡三升面水下洞當時大邱府本町二ノ七四無職李重華（三）はモヒ癮者にて常に擧動怪しきを以て豫て視察中の處偶去月廿一日午後一時頃大和町を徘徊中所轄大邱署刑事金在敬が逮捕したるに依り前田警部補は彼の身體檢査を行ひたるに同人の上衣内隱より韓國獨立公債額面百圓券一枚同領收證用紙十三枚同軍資金領收用印一個外太平洋會議及び其獨立運動に關する雜記帳と認めたる手帳一冊を發見するに至りたれば愈嚴重取調べたるに遂に某重大事件に關聯せること判明したり
即ち重華は今を距る二十年前生地忠北から出奔し支那上海方面より露西亞地方を徘徊し洋服商を營みしも大正八年一月頃より同九年三月頃迄月俸百五十圓にて露西亞過激派の將軍メリコフスの配下に入り三原倭たる朝鮮軍人總司令官李東輝との間に連絡を執りその傍ら赤化運動の爲め同將軍の命に依り同地方に散在する鮮人をして赤化せしめ居たるが四面楚歌の聲起るに及び安東縣に來り一定の生業なく不逞鮮人間に交際を求めて上海假政府員に接近し九年十二月廿四日假政府財務總長李始榮の配下に屬する平北宜川邑內金列伊（三七）に邂逅し列伊は始榮より假政府公債額面七千五百圓（百圓券六枚五百圓券四枚千圓券五枚）及び始榮の印章を押捺せる大韓民國二年上海臨時政府財務總長の文字ある南に作成の領收證用紙十六枚を交付され其旨を重華に傳へたる爲め同人も之れに共鳴したるに依り列伊重華の兩名は朝鮮に向け同月廿九日同地を出發鴨綠江の六道溝と稱する地點を夜間窃かに氷上を渡り義州に出で同地より汽車にて列伊は平壤に下車し重華は京城に來り北親族なる京城貫鐵洞五八方に滯在の上列伊を待ち居たるが列伊は平壤方面にて行動を起し後本年三月下旬頃重華の許に來りにて兩名は慶南密陽方面の富豪を訪ひ資金の募集を爲すべく直に引揚げ三浪津に赴き同地より更に密陽に引返して富豪を物色し邑内附近の宿屋飲食店等に潜伏しつゝ陰四月上旬より六月頃迄密陽大邱間を往復して密陽郡府北面居住の兩班朴秀晩外五名に對し義捐金募集を以て金員を提供せしめたるもの約三千圓に達し其他重華のみ旅費に換へ金額は何れも陰七月頃列伊が名を騙りて百五圓を捲上げ公債引換の領を以て財務總長に納付する爲め上海に赴きたるが重華は彼れの歸來を待つ中逮捕されたるなりと尚ほ重華が密陽に潜在中密陽生れと稱する孫備在（三七）と懇意になり從に共配下として行動を共にし偽造列伊の名刺と二百圓を重華より貰ひ受けて上海に赴くと稱し午ら密陽を出發したる儘行方を晦したるが
以上の犯罪事實の外餘罪ある見込にて再調續行中なると共に一方共犯者たる列伊備在の所在搜索に腐心中なり因に證據品として擬裝爆彈を始め露國紙幣領收證の如き有力なるもの机上に山積されあれば事件は奈邊迄擴大するやも測り難しと云ふ

假政府の參議
鴨綠江で取押らる

【新義州】去る大正八年三月[illegible]鮮内に入らんとし物に安東縣に來[illegible]同志の密謀と[illegible]間に偏を利かして居たが今度の華府會議に際し獨立宣傳のため[illegible]

一道試合

大連滿鐵本社柔劍道場に於ては高野、藤森兩教師引率の下に有[illegible]

◎岩井商店支店設置　愛知縣一宮市上本町合資會社岩井商店織物問屋にては從來朝鮮に於ける營業[illegible]

女子教育を男子と同等にしなければならぬ
と京都で開催さるゝ全國女學校長會議で輿論
女子教育尊重宣言

【京都】來る七八日の三九日間京都市岡崎公園内公會堂に於て全國高等女學校長協會主催の女學校長協議會が開催される女子教育の普及につれ全國女學校の數はもう六百を算するに至り婦人問題の高唱につれて女子教育を男子對等にしなければならぬと云ふ主張が盛んになつた之に從つて今回の協議會にも此等の傾向が現はれる其協議題を一瞥しても岡山縣全女學校提出の高等女學校と中學校との取扱を同一にせよ福岡縣二十一校提出の女子教育尊重の意義を闡明しこれが宣言を發すべし大阪府全校提出の男子教育に於て女性に對する精神教育を徹底せしむること其筋に建議すること奈良縣全校提出の女子の高等教育機關を設備すること香川縣十一校提出の高等女學校卒業者を既說大學に入れる連絡方法如何など何れも現代女性の要求をありの儘に示すものが多い更に敎育の内容に立入つて曰く女子高等學校の獨立を計ること曰く女學校高等科の學科目を自由に選擇せしめ高等學校の獨立に對して專門學校的色彩の者にする自由を與ふべし曰く性教育の可否を明かにし社會教育を充分にするやうにせよ曰く大に自治的訓練を施さしめよ入學試驗の弊害を除去すべし女學生の服裝に就て徹底的の取扱をなすべし理科に關する設備費を中學校なみに國庫より補助すること等實に多くの問題を持出してゐる殊に私立女學校九十二枚（東京二十八、地方六十四）では過般大都市女學校長會の反感もあるので此際私立學校に對する國庫補助と共に五ヶ年勤續無資格の無試驗檢定を其前日に協議し終つて更に十日私立學校擁護の宣言宣傳をするそうである

南大門市場再築で紛擾す
管理者は保證に努めるから自分で建てよ

南大門市場火災後の再建築に關して世評紛々たるものであるが市場管理者側に於ては右に就いて未だ何等の腹案も無き有樣にて闇氣となりし總代側にては二日前に管理者に對して再建築を要望したるに『建築費を銀行より各人が入用の際に管理者はその保證に努め自ら再建築を爲さし』との回答ありて總代側の一部にては激昂の餘り種々交渉を重ねつゝあるが目下紛擾中なりと

仁取疑獄控訴公判
第四日目辯論

仁取大疑獄控訴辯論第四日目の四日は午前十時から覆審の大法廷で開廷當日は朝倉、切山、福田、赤尾、松本、後藤各辯護人の外民事原告不二商業株式會社の請求代理人東京辯護士藤田久太郎其他私訴百五十萬圓の男氏並に李升雨氏が出廷した吉田裁判長の開廷を宣するや劈頭赤尾辯護士の無罪論あり之にて刑事辯論は終結私訴辯論に入る藤田辯護士は提出理由として背任罪成立の法律論から說き起し民事被告人即ち取引所並に飯田奧田其他仲買人等は民事原告から依託され建米賣買中解合行爲に依つて損害を掛けた要するに解合行爲と稱して任務に背いた行爲に基づいたもので全然權利を侵害したから背任を基礎として本訴を提起すること結び右に就いて裁判長から質問あり約二十分に亘つた押問答の結果本件は不渡小切手に依つて建米した行爲を騙取したものである。即ち第一審判決に基づく請求であるこいふ結論となり被告方松本辯護士の答辯に入り『定期賣買を裝ふた不正行爲でない』と云ふ意味の理由で否認したが裁判長から建米の關係も否認するや否やと突込まれ茲に後藤辯護士と共に釋明する處あり結局建米、解合値段等は否認せず納會値段は只理由なく爭ふと云ふ事となり一部は認め更に於不渡小切手の一件とは全然關係ないこ反駁した

公文書僞造行使事件

府內新町石橋廉造氏を欺き萬圓を騙取せんと企てた仁川郡[illegible]城面鶴翼川安洪烈（三）同伊淡[illegible]及岩里李鍾元（三七）兩名に係る公文書偽造行使詐欺事件は永島豫審判事の取調を終結し四日京城地方法院に有罪として移された其の犯行は昨年十一月石橋から二千圓を借用するに當り目下行方不明の李鍾運外數名と共謀し被告鄉里の田畓二十四筆に對する方法院登記所の登記を爲したが其間登記簿に不實の記載をなさしめ石橋を欺き二回に一萬二千圓を騙取したものである。

猶崎鐵香を名乘る曲者
江畔謠會で毒舌を振ふ

龍山京管局有志五十餘名に組織されたる江畔謠會は三十一日天長節祝日に社友會にて展覽會を開催中午前十時頃漂然と廿五歳位の青年來りて自分は新進京城出身謠家猶崎鐵香と稱して場內を一巡し數十點の出品謠に容赦なき毒舌を振ひて悠々と批評を喫して立ち去りたるが二日には又も切らず猶崎氏は寢耳に水と驚きたるが右の怪漢は已に市內を諸々徘徊したる事判明したるが所轄署にては嚴探中であると

通信競技の金牌銀牌
李王職美術工場で製作

來る七日京城郵便局に於て擧行せらるべき全鮮通信競技會に朝鮮遞信協會より優勝者に寄贈せらるべきメタル金牌三個銀牌七個は李王職美術工場に於て調製中の處此程出來したが其意匠は前圖の如く頗る瀟洒高尙なるもので金製は廿二金二匁五分あり尙本牌を受くべきものは郵便、電信、鐵孔の各一等者にして銀製は同二等であると果して誰が手に歸すべきか各選手は期日の切迫と共に緊張しつゝあり

金細工ノ御註文ハ村木時計店へ　電話四七一番

寒さと丁子屋

安心の出來る既成品

トンビ、オバー

英國製ラクダメルトン　裏地絹サテン、甲斐絹、アルパカ　四十八圓より八十圓まで　寸法十通　柄合三十通

英國製ラクダ、スコッチ　裏地アルパカ、絹サテン　四十九圓より八十圓まで　寸法十二通　柄合三十通

弊店の既成品の三大特徴
●裁縫は仕立自慢の弊店工場製であります
●生地は水に浸して充分縮めタップリ使つてあります
●スタイルが新しく不思議によく適合致します

小供マント各種品揃
愛らしき坊ちやんや孃ちやんのマントが澤山出來ました尚中學生向女學生向のマントも澤山揃つて居ります

京城南大門通
丁子屋　電話二三番　二貳〇番
定休日　六日　二十日　營業時間午後七時まで

寛永御前試合

小金井芦洲講演

第一三二席

槍を持つて逃げ出しました市助、主人飯島の前に飛んで來て 市『旦那樣誠に何うも相濟みません、でございます、何うか御勘辨なすつて下さいまし 飯『出來して終つた事は仕方がない以來は氣を注けますやうに、槍を取戻したのは何よりの事であるが若し荒木先生にお間違ひがあつてはならぬ、場合に依つては助勢もせずばなるまい、其の槍は方へ寄越さつしやいと市助から槍を受取り之れを小脇に搔い込んで北堂武右衞門と二人でやつて來る、此方は總津七兵衞、荒木又右衞門に翠丸〳〵と罵しられるのが癪に障りカン〳〵に怒つてブーンと棒を以て打ち込んで來る、又右衞門は何々と笑ひ

ながら腰に差したる樫て師匠讓りの郷の吉弘の一尺三寸の鐵扇を取出し少時く待遇て居りましたが成程總津七兵衞も高慢な事を云ふだけあつて却々好く出來る、併し長い立合になつて來ると段々疲れを覺えて來る、然う

染物洗張師　清水堂　京城府黄金町三　電話七五四番

すると又兵衞は平氣なものだ、七兵衞氣を焦つて遮二無二打込んで來る奴をひらり〳〵と身を躱し、手元に附入つたら事敵七兵衞失策たと思つて棒を取直さうとする處を鐵扇を以てピシリッと左の腕を强かに打つた眼眩んで退る處を物に蹴いてドーンと打つ倒れ遂に悶絶をして仕舞つた 又『ウハヽヽ、口程にもない奴だ……ア、渡邊殿斯の通り何うか御安心下さる樣に 靱『千萬忝なうござる、併し此奴は此の儘に捨て置く譯にも參りますまい 又『イヤ決して御心配御無用、刑の儀ア、やつて大きな翠丸を出して往來の眞ン中に倒れて居れば何れ往來の者が再び翠丸を突くでござらう、翠丸を突けば氣が附くから仔細ござらん：アイ、ヤ市助モウ一遍突いて見ては何うだ 市『何、何う仕りましてモウ懲々でございます、又『アツハヽ、ハツ然らば御邊氏參らう』渡邊靱負大きに感心を致し只管又右衞門の腕前に斷伏を致して居ります、其の晩は程ヶ谷に一泊を致し、翌日は恙なく江戸表の宮内少輔殿のお屋敷に到著を致しました、御

仁川本町三丁目　野田齒科醫院

道を始め息女のお樹俤の敗馬一同出迎へ道中安泰を祝し、靱負から一同の者へ荒木又右衞門、北堂武右衞門を引合せ、長途の疲れもあるに依つて一同は休息いたし自分は服を改めて早速御殿へ罷り出で池田宮内少輔忠雄公へ御目通りを致し立ち歸つて來て荒木又右衞門に向ひ 靱『サテ荒木先生、不思議な御縁で宮の宿から御同道を致しましたが泊り〳〵の旅籠屋に於ても誠にお慎み深く大層御酒はお上りなさる樣だがあまり武藝のお話しなどはなされぬ然るところ相

流寒風熱ニ一番ヨクキク複方ピラミドン　販賣店各地藥店ニアリ　本舗　京城元町二ノ八八　林藥房

州戸塚の宿に於て計らずも御供の市助の落忽よりお腕前拜見を致し實に感心を仕りました、偲り乍ら斯うして江戸表にお連込みになつたのは御仕官でも遊ばさらうと云ふ思召ではないかと推察いたします、願はくば主人池田宮内少輔忠雄へ御推擧を仕まつり度、何うか是非共御奉公を下されたく主人少輔も雄若し錚公が御奉公下さらば如何ばかりか喜び候はん、何卒此儀御聞濟み下さる樣、また他にお望みでもあれば及ばずながら渡邊靱負力の屆く限りは御盡力を致しますから何うか何んなりと仰せ聞けられ度く御心中お明しの程をお願ひ申し度うござる』信面に表れての言葉、又右衞門も大きに喜んで實は是々斯樣云々でござる、此度出府致しましたる要件を殘らず物語り 又『それに就いて拙者の望みと云ふのは是非江戸の中の何處かへ道場を開き度き考へでござる 靱『ハ、ア左樣でござるか』

新營通信

▲神社祭典 二十九日午後[illegible] 率せられて參拜者[illegible]の講演あり當日各町は國旗提灯を以て飾り夜は各所々々に[illegible]

▲[illegible]近來になき盛況なり▲青年大運動會 新營尚武會主催の青年大運動會は三十一日天長節[illegible]掛けにて鹿の奪い合ひをなす盛況にて全市全く運動熱に浮かされた▲出場者三百八十名午前九時競技を開始し[illegible]マラソンは第一著十五分にて岡山村選手に優勝せられリレーレースは新營町組優勝し[illegible]まで何等の反目もなく[illegible]

義州

本年の天長節には民[illegible]を擧げて聖壽の萬歳を[illegible]午前六時[illegible]

將棋新手合(三)

於平壤大和町平壤高等女學院樓上

香角交 △七段 溝呂木光治(東京)
香落番 ▲四段 池田卯八(平壤)

圖は前號指了迄の局面 ▲持駒 池田氏 角歩三

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金		金				一
	玉	銀			銀				二
	歩	歩	歩	歩					三
歩							と		四
					歩		角		五
歩		歩				歩	香		六
	歩		歩	歩	歩	歩	飛		七
	銀	玉		金	銀				八
香	桂		金				桂		九

△七六飛▲七七歩△二七香ナル▲七六歩△三八成香▲五九銀△四六歩▲同歩△二八飛▲二五と△同飛ナル(ホ)▲九五歩(ヘ)△二九龍▲九四歩△九二歩▲九三歩ナル△同歩▲九四歩△同歩▲九二歩(以下次號)

溝呂木七段講評
△(ホ)同飛なろは少し弱し四八歩と打つ方面白し
▲(ヘ)九五歩突き此の局にては好き攻撃點なり

京城明治町 電話貳三四〇
産科婦人科 中央婦人病院 院長 衣笠舜山

十一月六日

(舊暦十月七日) 日曜日 ▲先負 ▲閉 吉方 ▲北方

▼一白▲外面はよく見えても内實は却つて不和の口散財を減むべし
▼二黑▲不得手を付け込まれ易く大事徒勞に歸する口喧嘩は凶
▼三碧▲喜ばしき事多き口移轉も旅行も求職も其他よろづ大吉
▼四緑▲内外相呼應して諸事順調に進むべく新舊何れにも有利
▼五黃▲品澤山の商内繁の口何事にも辛抱が第一世話事大禁物
▼六白▲至極好調居ながらにして福徳合せ得る如き口待人來る
▼七赤▲嘗運を意味する口之まで持越せし紛擾も難なく解決す
▼八白▲口舌過ぎては禍し易く取扱ひ出費多かるべし
▼九紫▲信じ過ぎて損失を招く外驟ぎより内輪の方が安全な

▲懸賞當籤發表

正解答案

健	胃	固	腸	丸	本廣告チ見タル新聞名チ記セシ欄	解答者
下痢痢	腹痛	食傷	寢冷	吐瀉		住所氏名

答案總數 參拾壹萬四千貳百〇壹通

内譯
正解答案 參拾萬四千八百八拾八通
不正解答案 九千百 貳拾壹通
締切後着信 百九拾貳通

弊堂去る七、八、兩月全國八拾餘種の日刊新聞にて廣告せし健胃固腸丸の繪解募集の應募答案は斯く多數に上り弊堂の深く光榮と致す次第であります
抽籤は大正十年十月十五日大阪朝日新聞社、大阪每日新聞社、萬年社、京華社、旭廣告社、各社員立會の下に嚴正に執行の結果左記の如く當籤決定し當籤の諸君には通知書と共に賞品を郵送せり
茲に應募各位に對し謹告致します

一等賞品 貯蓄債券五圓一枚宛 五拾名

滋賀縣河邊勇治郎殿熊本市高木次男殿大阪府西田ノブエ殿東京市新井竹次郎殿德島縣高橋義雄殿岡山縣水島虎五郎殿宮崎縣柳田政進殿大阪市藤井敏夫殿大阪市北村方政吉殿大阪府吉田長次郎殿大阪市谷村新一殿京都市河邊由之助殿德島縣多田正一殿宇都宮市井上錦峰殿山口縣下瀬吉郎殿神戸市梶川數馬殿大阪府木村忠儀殿東京府戸崎久子殿神戸市内藤鶴治殿名古屋市水野初賀殿兵庫縣吉田繁次郎殿群馬縣渡邊イク殿千葉縣楠田彦太郎殿神奈川縣河合成一殿福島縣菅野隆二殿島根縣加本牛一殿兵庫縣大川璞殿山形縣加藤勇作殿高知市井上鹿藏殿大阪市喜多フミ殿東京市平野正義殿台北市安田雄二殿北海道本谷仁殿濱松市鳥山千代吉殿樺太中島成一殿愛媛縣岡本直一殿廣島縣楠木健次郎殿朝鮮山川キヨ子殿和歌山縣中村義雄殿呉市小谷松代殿京都市山下孤月殿東京市山田貫一殿岡山縣花川久夫殿東京府木村きよ殿松江市錦織助太郎殿京都市吉田清太郎殿和歌山市伊東正二郎殿愛媛縣驪田次郎殿東京市守西貫三殿福岡縣四郎丸末子殿

二等賞品 特製手提囊一個宛 百名

大阪市桝本敏夫殿神奈川縣小島金作殿兵庫縣松本宇一殿大分縣金首武雄殿濱松聯隊區胥野陸平殿德島市山本信子殿神戸市蛎原一二殿台中石橋孝殿熊本市竹村堅固殿愛知縣加藤吉太郎殿東京府田村清一郎殿兵庫縣波々伯部文枝殿京都府守岡奈良太郎殿福岡縣副島研一殿朝鮮河野夏代殿大阪府武田碩松殿埼玉縣小澤千鶴子殿京都市小松常吉殿台中佐藤邦殿東京市古市曾江殿大阪市尾上留次郎殿福井縣山田八郎殿福井縣篠原雪子殿兵庫縣圓尾光雄殿福岡縣加藤兵七殿佐賀縣鵜川清殿京都市万秀かれ殿兵庫縣井元まさゑ殿福岡縣徒永鶴殿山形縣廣谷善三郎殿長野縣河西朝善殿大阪市中澤貞二殿大阪市年梅靜江殿靜岡市山家たけ殿和歌山市酒井柳蛙殿和歌山市橋本晋吉殿和歌山市栗生幸次郎殿神戸市西原時次郎殿神戸市今井理一殿兵庫縣押塲麗雄殿宮城縣高橋政路殿大分縣御手洗高士殿横濱市森本靜子殿大阪市式松久次殿長野縣井上桑見殿栃木縣戸上卯之松殿京都府西山貞之助殿大阪市東條信夫殿朝鮮高橋岳殿千葉縣荒井德一殿岡山縣森井良己殿京都市柴田フジ殿神戸市森澤三朗殿香川縣多田羅寅市殿和歌山縣藤下皐華殿廣島縣新庄豐殿山口縣品川順氏殿宮城縣菊地益二郎殿京都市稻子田邦一殿長野縣河東正雄殿東京府平林きみ子殿東京市横田方周吉殿大阪市山本きみ殿和歌山縣宮本さい殿福岡縣岩丸重衛門殿靜岡市加藤治郎殿大阪市美濃政次郎殿東京市胡桃澤路次殿鳥取縣松本君代殿愛知縣金田高典殿佐賀縣今村征夫殿佐賀縣横山日出久殿佐世保市土田澄重殿栃木縣篠崎長二郎殿大阪府宮崎德治殿大阪市大森竹松殿大阪市川崎義隆殿大阪府竹田三郎殿京都市川嶋定兵衛殿京都市中村良太郎殿京都府池田治郎殿栃木縣飯塚伊三郎殿東京府秋山登殿高知縣森本直已殿東京市山井嘉一郎殿兵庫縣福井啟殿大阪府西村辰治郎殿福岡縣羽田勇吉殿長野縣岡島徳二殿岡山縣守山長治殿高知縣上久保旭堂殿福岡縣藤沼凡殿北海道原田竹太郎殿福島縣伊藤喜代次殿靜岡縣田邊たつゑ殿千葉縣小川保殿石川縣若林榮一殿横濱市以部末吉殿台中宮内良之助殿山口縣倉永傳殿

三等賞品 特製鉛筆五本入一函宛五百名

三等當籤者の名義省略す

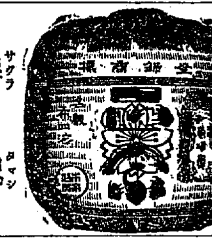
健胃固腸丸

過食或は飲冷込等より起る
下痢、腹痛、吐瀉、
腸胃加答兒を速に治す

登錄商標
藥價 廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、貳圓、參圓、五圓、拾圓
▲小兒には專門の小兒固腸丸あり
大阪 東京 谷回春堂
各藥店にあり、商標及本舗名著に御注意あれ

京城本町一(郵便局横)
中村眼鏡店
電話二一七番 振京三四六番

櫻正宗
櫻魂



釀造元 山邑酒造株式會社 兵庫縣灘魚崎
發賣元 山邑酒造株式會社 京城支店 京城明治町二丁目

ゑ気のみなもと
はまれみそ
釀造元仁川港 日本醬油株式會社

ヘルメス
ウ井スキー
良きものを少しづゝ
おすゝめいたします

209

株式會社 祭原商店 大阪市東區安土町四丁目

1011-210

ほんのり色白くなる
レートフード

此の一滴で

アレを防ぐ
レートフードは附けると直お肌に溶け込んで生地からほんのり美くしくする上に、地肌を完全に調へますから、寒い風にあたつても肌の荒れる心配がございません。

白粉下に良し
レートフードはほんのり色白くする上にお肌を根本から美しくし、且つ使へば使ふほど美化の度を增します。また白粉下に用ふれば白粉のノリ、ノビをよくし化粧栄を引立てます

東京・大阪 平尾賛平商店

MITSUWA
TSUBAKI (CAMELLIA) OIL.
Mitsuwa Tsubaki (Camellia) oil is admittedly the best for the hair. It enhances the natural lustre and strength of the hair, and nourishes it generally. The oil is compressed from the camellia, and through a sanitary process, is bottled absolutely pure. Perfect for toilet.
Price 45 Sen. 80 Sen and 1.40 Sen

毛髮を漆黑且艶麗ならしむる
小平理學博士推奬 冷壓製頭髮用純椿油
冷壓 純粹 ミツワ椿油
定價 大壜金壹圓四拾錢 中壜金八拾錢 小壜金四拾五錢 内地以外は關税運賃を加ふ

ミツワ椿油は普通の椿油とは、全然違つた方法で製造されてゐるので、品質も亦他と異つて斷る優良の特徴を有せる椿油で、本邦人の毛髮の衞生と美髮とに最も適合せるものである。
冷壓法　本品は他の椿油の製造法と異り、絶對に熱を加へず、强力なる壓搾機で搾取したものである。
純粹　些の混合物なく、搾取せるまゝの純粹である。冷壓法で製造された純粹な椿油は獨りミツワ椿油のみである。
滲透性　毛髮の組織によく浸み、發育を助けて、赤毛白毛又は裂毛折毛になり易きを防ぐ。
不乾性　不乾性に富むを以て、毛髮は常に艶々しく、濡羽色に漆黑ならしめる。
滲透性と不乾性とは椿油の特徴であるが、本品は冷壓法の製造なるが故に、完全に此兩特徴を具備して、毛髮の發育を助け、榮養を增し、毛髮は常に漆黑に艶々しからしむる理想的の頭髮油である。

現品縮寫圖

煉香油 ミツワポマード 定價 壜入 金七拾錢
ミツワ椿油を基礎とし紳士用束髮用に適せる
爲一最寄に取次店なき方は本舗より直送す(郵券代用不苦)。振替貯金口座東京七一〇。發賣品目錄申込次第送呈
發賣元 ミツワ石鹼發賣元 東京橘町 丸見屋商店

[illegible]第三回抗議の回答を督促し又尼港支那軍艦砲擊事件の賠償及謝罪の實行を督促せり

正式承認不可

大連會議は今尚再開を見るに到らず齊多代表ペトロフ氏は會議[illegible]を指摘し大に齊多側に有利な宣傳を行つてゐる併し會議の内容に關しては何事も語つて居ない齊多側の主張がし尼港問題、一般撤兵問題及[illegible]業問題をも解決したいといふにあるが是に關する我當局の見解はチタと歐露との間に事實上密[illegible]に交渉を行ふ譯には行かぬ日本[illegible]業權問題に關してチタと交渉を行ふことは不可能である何となれば今日のチタ政府を[illegible]を斷行し其後此方面の治安が完全に維持され、齊多政府を責任ある政府と認むる時が來れば尼[illegible]この關係を公式に承認しない以上或は交渉は一頓挫となるべく形勢は極めて悲觀に傾いてゐる

東拓定款改正說
積極方針の生む所か

東拓會社の定款改正問題に就ては果して同社に於て緊急なる問題として**提議され居**るや否やも不明なるも東拓本來の目的が朝鮮滿洲方面の事業開拓にありしも更に同社事業經營の方針は南洋方面にも進展し益、積極的施設の下に進むの必要を生じ自然**定款にも改**訂を加ふるの緊要なるに立ち到れりとすれば首肯さるゝ所にして殊に最近に於て同社諸事業に對する積極方針を執れることは屢々聲明する所にして貸出の如きも常に對物信用を主とせず大に事業本位の貸出をなすことも東拓本來の使命到達上必要あるべく定款の改正に伴ひ之を活用する**人材の拔擢**大に必要にして各所支店長級者には更に獨斷專行の權限を或程度迄擴大する必要もあるが如く又從來同社にては財界の好不況によりて**社員の馘首**さるゝ者多數なりしが普通一般の營利會社と趣を異にする者あるにより此邊は人材網羅上同社當局も大に留意せる所なりと聞く定款改正說は同社の事業に對する積極方針より見て强ち否定し難き所なるべしと說く者あり

朝鮮蓄產協會
發會式擧行

過般來設立中なりし朝鮮畜產協會は今回愈々準備完成し來る廿日午後零時半より南米倉町京城俱樂部に於て創立總會を開催し創立事務報告、會則の附議、役員の選擧等を行ひ午後二時より發會式を擧行し會長の挨拶、祝辭、講演、記念撮影、茶菓饗應等ある筈にて全鮮官民有力者及び各新聞社に招待狀を發送せり

滿鐵商議會議
第四回の決議

第四回滿鮮商業會議所會議は十月二十二日平壤に於て開催されたが其決議事項としては、

一、滿鮮富源開發方策に關する件
一、鐵道經營主義に關する件
一、鐵道運賃改正に關する件

等であつた、而して前記三項とも滿鐵として至大の關係を有するを以て該決議事項の各項に亘つて詳細に研究するの必要ありとして關係當事者は之に對し研究に着手したと

東拓小作收納
京城支店管内分

東拓京城支店管内本年度小作米收納狀況を聞くに客月中檢見を終り本月十日より納入を開始し約三十日間を以て終了の豫定にて檢見の成績は稍良好にして收穫豫定量を通じ前年に比し約二割方增加なるが本年合併せる碧水原管内の分は平均五分の減收なり而して本年度小作米の增加は作柄の前年より良好なる爲に非ずして旱水害なかりし爲め自然前年より增加せるものなりと今其收納數量を示せば左表の通りなり

	面積（町步）	小作料
檢見	一、一三〇	六、〇〇〇石
執租	四、八二〇	二八、〇〇〇石
金納	九二〇	六二、五〇〇圓
大豆	二八〇	二、〇〇〇石

京城質屋近況

毎年十月は京城の祭禮月なるを以て花柳界の所謂かき入れ時にして其繁昌當月に倍するを常例とすれども本年當月の景況は豫に例年の盛況を見るに至らず尤も夏枯時に比すれば相當の水揚を增加し居れること勿論なれども全く豫期に反したるが如し其結果同社會を相手とする質屋の營業にも尠らず影響を及ぼせるが如し殊に十月は質物入替への時期なるを以て受質相當の額に上るべき筈なるに事實は出足極め鈍く前も月初の受出に係る質物の多くは祭禮當日の必要に迫られたるものにして今日再び典物に供せらるゝもの尠からざるが如き畢竟無理工面の結果たりと觀るべく尙今明の入替には現金を以てする受質割合に尠く其の多くは他の典物と交換したるに過ぎざる有樣にして之れ明かに花柳界の不況を證するものと云ふべく又一面市況の不振をも語るものにあらざるか

朝鮮紙商況

市場尙相當の在荷あれども何分產地に於ける生產の減少著しきものある爲め相場漸く騰貴し大莊紙二百八十圓、滿紙百八十圓、三貼紙八十圓、貢物紙三十五圓を稱し昨年來の安値に比することは平均約二、三割方の高値を示すに至りたりされど輸出は支那本國に於ける類似品の出現と昨年來の荷閊へ尠からざるものある爲め輸出向の取引更に行はれざるのみならず鮮内の需要亦極めて不振にして目下需要期なるに拘らず荷動き甚だ活潑ならず殊に黃海道方面の如き作柄良好ならざる爲め需要の減退も著しきものあるが如し

殖銀課長決定

殖產銀行營業課長鹽川孝吾氏の後任は種々取沙汰されたるが秘書課長渡邊彌幸氏任命された

鮮鐵運輸成績

十月中に於ける鮮鐵運輸成績を聞くに旅行季節に於ける旅客の往復は學生團體及觀光團體の增加に依り頗る好況を呈し貨物運送亦出穀季に入りて粟、大豆の外[illegible]來し殊に木材の内地移出多量に上り加ふるに冬物の需要旺んなり[illegible]の減退に依り噸數に於ては前年度より約八千噸の減輸なりしも收入にありては相當の好績を擧げ得た統計左の如し

乘車人員		一、二七八、七八三
同	比較	一八七、三六八增
噸數		二七二、一〇五
同	比較	八、一七四減
客車收入		一、二五四、八五五
同		一四六、九七六增
貨車收入		九一七、七六一
同		五六、一三二增
一日平均收入		六二、六七
同		五、一九增

東海岸の鰊漁

【大邱】慶北東海岸に於ける鰊漁の期節に迫りたるを以て過日漁業組合に於ては去る三十日十八箇所の組合事務所にて組合享有の漁場の入札を行ひたるが一箇所の使用料は區々なるも最高三千二百六十圓、最低二百五十圓總使用料二萬九千九百四十三圓にして之れを前年に比すれば約一萬圓の增收なりと

鮮銀券週報

十月二十三日より同二十九日に至る朝鮮銀行發券發行平均高は一億一千二百七十七萬一千六百二十二圓にして内制限外發行高八百六十一萬二千七百十八圓正貨準備發行平均高五千四百十萬八千九百四圓保證準備發行平均高五千八百六十一萬二千七百十八圓なり

◎京阪金利　三日現在の如し

	東京	大阪
コール無條件	二二、五〇	二二、〇〇
翌日物	二三、〇〇	二二、〇〇
六十日物	二四、〇〇	二五、〇〇
手形割引步合	二五、〇〇	二二、〇〇

◎日銀狀況　二日現在左の如し

發行高	一、一二三、四八四
正貨準備	一、一二三、四八四
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	一七八、二二四

◎朝鮮銀行券　二日現在左の如し

發行高	一二一、八三八、二四八
正貨準備	四七、六四九、一九五
保證準備	一四、一八九、〇五

金剛砂

▲殖銀鹽川營業課長の後任に就ては同氏の地位が營業機關の中樞にある丈けに後任詮衡には重役も隨分苦心した模樣で其結果秘書課長の渡邊彌幸君に人選が極まつた▲テキハキやつて退ける鹽川君を見た眼で渡邊君に接すると如何にも溫厚な危けのない人物だと首肯される▲鹽川君は原首相と私淑して政治家中第一人物だと推稱やまざる士である以て鹽川君の遣り口が分ると云ふ人もある▲今度の京取紛擾に就ても鹽川君はいろ〳〵と噂されたが敢て辯解しようともしない時日の經過が證明しますと云ふて居た▲世間では鹽川君が現信託會社に行くのを殖銀に居るよりは更に活動する餘地多いと許して居た▲兎に角に京取株が四十圓時代に百二十圓位には必ずなると斷言したのは鹽川君であつた▲其れ丈に腕入れて京取株に貸出した形跡はある▲渡邊君は今後京取に對して如何なる態度を執るであらうか注目に値する

株式（四日）

東京現株

銘柄	四日前場	三日後場
鮮銀	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東取	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	四日前場寄付	三日後場大引
大株	一四七・九〇	一四九・九〇
同新	一一九・〇〇	一二一・一〇
郵船	一三五・六〇	一三六・九〇
同新	五二・八〇	五二・〇〇
商船	六〇・一〇	……
同新	九六・九〇	二〇・一〇
鐘紡	三三一・八〇	[illegible]
同新	三一五・五〇	[illegible]
東紡	一四三・九〇	……

大阪延取引

銘柄	四日前場寄付	大引
大新	一二八・七〇	……
鐘新	一三六・〇〇	……
天取	五九・〇〇	……

銘柄	四日後場寄付	大引
大新	一二九・一〇	……
鐘新	一三九・一〇	……
天取	五九・五〇	……

安東株式

	寄付	大引
○三日後場　安取當	三二・〇〇	三三・〇〇
安取先	三二・七〇	三二・五〇
○四日前場　安取當	三二・五〇	三二・四〇
安取先	三二・〇〇	三二・七〇

愈々解決
關係者訪府

京取決濟資金融通問題に關しては銀行側も好意を以て之に當り仲買シンジケート協定書の提示を求め居たるが仲買側に於ても白木會議の結果兎も角も全會一致の調印を得たるより順序上市場信託に提出し釘本天日兩社長は之れを携へて殖銀を訪問し殖銀は又關係銀行たる商銀貸銀と打合せを爲し三者の意見を纏めて親銀行たる鮮銀の諒解を求め鮮銀は總裁不在なるを以て掛井理事より經過を電報にて再度總裁に報告し最後の決裁を仰ぎたる由にて未だ其の返電には接せざるも大體の意向は決定し居るに付之れにて殆んど全部の解決を見たる譯なるが之に就いて監督官廳へ經過報告並びに今後の取締方針に就ての諒解を得るの必要あり釘本天日兩氏は四日午前總督府に西村殖產局長を訪ひ詳細に報告する處あり且つ今後充分注意して再び斯の如き失態無からしめんことを誓ひ今後の諒解を求め一方銀行側よりも有賀殖銀頭取出府して金融に就いての諒解を求むる處ありたる由にて仲買組合は右兩社長の報告を得て最後の總會を開き愈々手打ちを爲す運びとなり居れるが此銘柄切迄には何や否やも未定なるも市場側の意向は五日後場より立會を開始する豫定を以て萬事の解決を急ぎつゝありたり

五日開市
或は七日か

別項の如く決濟資金融通に就いては各方面の諒解を得たるを以て之れにて萬事の解決を見る事となり市場は五日後場より立會開始を爲す旨非日委員長まで內意を漏らしたる由なるも組合總會の都合上七日の月曜に延期されんかとも觀測さる

重要株利廻り

株界は漸く混沌たる持合狀態が迎へられて居る四圍の情況觀から顧みれば此持合も結局は向上的に展開されると見るのが穩當の觀察かも知れぬ此場合先づ研究すべきは各重要なる株式の配當利廻りの關係である郵船は大株主中二割五分の配當維持な命脈に持込んで居るとの噂も傳へられて居るが事實はヤハリ二割配當と見るのが穩當であらう此配當にて現在の先物の相場で利廻りを取つて見ると丁度七分九厘强に當つて居る、東洋汽船は八分配當で一割一分五厘弱大阪商船は一割の配當で八分强の利廻りとなつて居る、紡績株も富士紡は二割五分配當と見て一割一分强、鐘紡は七割配當で九分六厘弱、日紡は三割配當と見て一割三分に當り、砂糖株では日糖の二割は間違のない所であらう利廻りも九分八厘强に當つてゐる、以下總て一割配當と見て鹽水港が六分八厘强、臺灣糖が七分二厘弱、洋糖が七分七厘、明糖が六分八厘の利廻りとなつて居る、鐵鑛は一割の配當で八分七厘、洋モスは三割の配當で一割二分五厘、上毛は二割五分の配當で一割一分八厘、京毛は[illegible]、日石は次期以後の配當三割と假定して一割二分六厘、東電は一割の配當で[illegible]、猪苗代は[illegible]、桂川は[illegible]、富士製紙は一割八分配當で[illegible]、王子製紙は二割配當で[illegible]、日本麥酒は二割五分配當で[illegible]、大日本麥酒、日清粉は[illegible]の利廻りに當つて居る、東株は一割五分配當と見て八分一厘、同新株は五分三厘と云ひ或は一割三分と見越されて居るが假りに一割四分と見て舊株は四分六厘强、新株は一分四厘の利廻りに當つて居る

仁川米豆取引所仲買人
布井仲買店
電話 二六四番 三三五番

大阪株式取引所仲買人
㊑ 象龍太郎商店
大阪市東區北濱一丁目
電話本局 [illegible]
あにむ經濟雜誌無代進呈

大阪堂島米穀取引所仲買人
米 象忠次郎商店
大阪市北區堂島濱通一丁目
電話北 一六二五 一三七一

解臺後の紡績
北濱だより

十二月十五日を以て愈よ全部解臺さるゝことになつて居る[illegible]

米況（四日）
仁川期米
前場頭重し

前日はマパラが克く買進みたるに拘らず阪地高の添調を受けて三十六圓十錢と反撥し買方の手詰め急ぎと阪地の小甘き止めに三十五圓七十錢と下辿りに打止め引跡氣配軟弱なりしも今朝は當出來ず**中六圓二十錢と四十丁高**に寄付きて引
▲第二節　當五圓丁度中六圓四十錢より五圓九十六錢と下辿りせしが先七十五錢より六十八錢と下迸せし後大阪寄三十錢猛の小高き移りに八十錢と盛返して引
▲第三節　大阪二圓九十錢保の安噂に當四圓七十二錢と押し中九十錢より八十錢と押し先五十五錢に始め忽ち三十五錢と叩かれしが押目は地場二流筋の買狙ひに六十錢と盛返し五十五錢と手堅く引
▲第四節　當出來ざる中七十二錢より七十錢と頭重く採合ひしが先五十錢[illegible]
▲第五節　當出來ず中七十錢に始め[illegible]
▲第六節　大阪三圓〇一錢の高噂に當出來ず中七十錢先六十錢より七錢と上迎りの機先大阪跡小甘き移りに早耳せし賣物に忽ち四十錢と崩れ强氣一派の買狙ひに五十錢と戾して大引せり

此邊動機待

一定の方針を定めて出動せる筷筋又は主力筋は阪地の一時的騰落に拘かされて前途を案じ迷ふが如き有樣なし誰何分米高時代を眼前に控へての採合丈けに日先の巧妙に逃げ廻らんとする場面が少しく高ければ投出すといふ調子にて著しく安ければアツキつゝあるが憶測行ければ阪地行きに付和雷同するから大勢定め難く或は此邊に騰付くにあらざるか

當中の前途

現在建玉は當限約八千石中限約二萬四五千石先限約四萬五千石見當なるが當市場の仕手關係を觀測なすに當限の如き各店の賣物は略賣米の準備調ひて之れ等の賣方は丸北の手口にして東京筋の買玉[illegible]

賣買差引殘

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
㋮ 唐澤正次郎
仁川港濱町三丁目
電話長 [illegible]

米穀餘聞

[illegible]向且備的に對策が打たれさうにない▲共れに付京城から共の通信社の手を經て注文を受けて居る二の仲買が表面組合の意見に同意を表して居るが內心自己の不利を云ふべからず放任主義を取つて居るからである[illegible]

後場大波瀾

▲第一節　大阪後場四十三圓七十六錢の奔騰移りに買氣充滿の裡に當限三十四圓四十錢中六圓ドタと七十錢と飛び先六圓三十錢と八十丁の大上放れに寄付
▲第二節　當五圓十錢の寄止め中六圓十錢より二十錢と手強く引公定二十一錢先六圓二十九錢より[illegible]
▲第三節　當出來ず中六圓十錢より[illegible]
▲第四節　中八十五錢より七十錢[illegible]

先六圓三十錢と八十丁の大上放れ
五十錢と躍進
五圓五十五錢と奔落

四日前場	
寄付	三五・八〇
止値	三五・五〇
高値	三五・八〇
安値	三五・三五
前場公定値	三五・一五
取組高	[illegible]
出來高	[illegible]

京城穀物
前場延取引

昨後場は期米の騰勢移りに十二月中限三十五圓迄吹出して[illegible]

株式金融

有望なる株式を推奬す京城現株取引信託株式會社の新株券に對し金融致します[illegible]
吉見株式店信託部
京城明治町二丁目
電話 一三〇八番 二二七五番

正米現物

[illegible]

三日後場

[illegible]

仁川正米

今午前中は聊かボンヤリの姿なりしも大阪期米引際の盛り返し移りに出白米の注文幅輳に午後は再び氣勢を揚げ白米三十九圓五十錢新玄米先約三十五圓六十錢古米合格品三十四圓四五十錢の唱へなるも貨物少なく前日に比し四五十錢高の見當也

釜山正米

內地期米高を受けて今朝は更に三五十錢方引締り鮮良現物新三十八圓古三十六圓神力新三十六圓三十五錢古三十四圓十二月中限三十五圓八十錢より九十錢同末限三十五圓七十錢より六十錢（四日）

群山正米

十二月中限三十五圓二十錢同末限五圓十五錢現物持合ひ（四日）

大邱正米

十二月中限三十五圓五十錢より六十錢十二月末限三十五圓六十錢より二十錢（四日）

大豆

高移りと相俟ち漸次氣勢を引締め來り今朝は三、合格二十五圓地上揚玄三十二圓前日に比し三五十錢高を呈し雜も改良種九錢四厘在來種九錢と引締れり

期正米高を受けて荷主頗る强氣なりと雖も內地狀況今一息面白からざる爲め移出筋概して見送り氣味なり居れど賣人は十八圓四五十錢處を突張り居りて双方商談纏まる餘地なきものゝ如し金郊浦本月中渡しは十七圓二十錢買の七圓四十錢賣の見當にて之れ又折合易からず當分時機待ち見合ひの姿なり

東京期米

[illegible]

大阪期米

[illegible]

兵庫期米

[illegible]

下關期米

[illegible]

各地期米

[illegible]

大阪三品

[illegible]

演藝案內

大正館　壽町　電話八七二
當る十一月四日より寫眞替り
○新派悲劇　婦人服裝　思案の外　第二部大作品
△新派悲劇　妹の死　全六卷　御覽に成て自然に涙の出て來る最近の事實譚
△舊劇　曲垣平九郎　全六卷　尾上松之助の馬術劇　何日も强い松之助馬に乘つても又妙正に是れ日本一
○文藝ホールケーン氏原作　○巨星セシルビデミル氏監督　○名優ガザリンマクドナルド嬢主演　藝術映畫ラスキー會社特作
△神の賜ひし女　全六卷　男女相互の愛に殉ぜさる形式の結婚が如何に慘ましき道程を辿る乎の勇者は猛然人爲の覇絆を脫して[illegible]
○毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館

京龍館　龍山兵營電車通　活動常設　電話三二一番
當る五日より新寫眞取替へ
一、喜劇　アビシニヤノ風景　長尺
一、泰西人情活劇　愛の力　全二卷
▲東洋人の意氣　全五卷　田舍育ちの坊ちやんであつたワガクズボーゾ大學に在學中受けた耻辱は彼は如何にしても忘れる事が出來ない[illegible]
▲新派悲劇　戀の犧牲　全五卷　私は決して淳様は忘れる事は出來ないが然し淳様の御身を思へば[illegible]
▲神子典膳　全五卷[illegible]

黃金館　黃金町　電話二六三
十一月三日より新寫眞上場
▲女毛剃　全五卷[illegible]
▲星の魂　全六卷[illegible]
▲陸奧物語　全六卷　中川霞城作[illegible]

喜樂館　本町一丁目　九七番　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る十一月四日より謝恩特別大興行
▲日活向島撮影所作品　東京撮影　暴突の風
▲新派悲劇　添われぬ仲　全五卷
▲狂へる惡魔　全七卷[illegible]
▲國定忠次　全五卷[illegible]

中央館　京城永樂町一丁目　帝國キネマ封切場
來る十一月三日より[illegible]

舊劇　伊庭如水軒　全五卷[illegible]
活劇　影を逐ふて　全五卷[illegible]
新派悲劇　小杉先生　全五卷[illegible]

浪花館　明治町　電話二六〇
當る十一月二日より浪界改造の第一點劇
東京 吉田東洋　東家鶴燕　合同大一座[illegible]

山田流琴曲教授
本町二ノ三四　家元　園田松葉
出張所　並木町七一　吉岡方
漢江通十一　今井秀市方

そこひ
[illegible]

横山博齊
第七回抽籤（十一月一日）福運者[illegible]

京城キネマ
改造第一鐘
豫告
來週より一週二回寫眞替へ
見よ

說明界權威　生駒天雷　口演
黃金館
ユニヴァーサル映畫上場
洋劇專門　日月火水曜　夜　マチネ
普通寫眞　木金土日曜　マチネ

地圖各種
最近世界全圖　送料共　八十錢
最近日本大地圖　同　五十五錢
最近朝鮮全圖　同　四十二錢
最近京城及朝鮮地圖　同　三十二錢
最近東京地圖　同　三十二錢
最近大阪地圖　同　五十錢
最近鮮滿地圖　同　五十五錢
朝鮮大地圖（兩大）　同　三圓十錢
京城本町　ウツボヤ書店　振替二二三

防寒の用意は出來ましたか
茶ラシヤ製防寒靴
踵、足先、横は皮附、中白毛附
一足　五圓也　送料五十錢
（註文は文數御通知の事）
京城太平通　合資會社　京城日報代理部　振替京城二〇〇番

資本金五千萬圓
積立金貳千九百五十萬圓
京城府南大門通二丁目九番地
株式會社　第一銀行　京城支店
頭取　佐々木勇之助
支配人　藤森忠一郎

第五回責任郵船株賣出開始
期間　大正十年十一月十日ヨリ同十一月十五日マデ
資金十株付二百圓　百株付二八百圓
[illegible]
石井正忠商店
大阪市北區[illegible]
各地支店　大阪船場、東京、伏見、神戶、名古屋
出張所　知山、廣島、岡山、下關、福岡、高松、金澤、松江

開業
大正十年十一月十五日
京城府明治町二丁目八十二番地
京城現株取引信託株式會社
社長　中村再造
電話　長一六二三番　一八四〇番

桃谷研究試驗所創製

美顏白粉

學理を最も親切に應用したる白粉

美顏白粉唯一の特色

此の頃の婦人がたは、化粧品を選ぶのに一方ならぬ注意を拂はれるやうに成りました。と云ふのは、平生使用してゐる化粧品の良否で、顏の皮膚が、長い間には思ひの外大きな變化を受けるものだと云ふ事實が、分つて來たからであります。此の事實から考へて見ましても、化粧品と云ふものは、苟にも手落のない、十分な設備を調へて、嚴密な上にも嚴密な科學的の研究と注意を積んで製造すべきものであつて、決して大ざつぱな考へを以て製造すべきものでない事は、更めて申すまでも無いと信じます。

有識婦人に賞用せらるゝ譯

桃谷藥學博士指導の桃谷研究試驗所では夙くから深く此の點に心を用ひ、長い月日をかけて研究を重ね、學理を最も親切に應用して美顏白粉を創製し、次で各種の化粧品をも創製したのであります。美顏白粉の持つてゐる特殊の個性―特長の由來は、此處にあるのです斯うした特長は、自然に人を引着ける力となつて美顏白粉に現はれ、それが段々と知れ渡るに從つて、現今の婦人がたは、化粧料には美顏白粉を選ばれる事になり、殊に知識階級の婦人がたの間に、洽く賞用せらるるに至つたのであります。